

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																									
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																									
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																									
実施計画掲載ページ		P 20	中 事 業	教育指導奨励費																												
事業コード		002-001-002-00237	事 業 名	小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																												
目的及び事業内容		<p>小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <p>・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化）</p>																														
取組実績		<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、大会に参加する交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 8回（6校） ・東北大会参加回数 2回（2校） ・補助金交付額 934,491円 <p>体育活動県大会以上に参加した中学校に対し、大会に参加する交通費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 43回（19校） ・東北大会参加回数 17回（13校） ・全国大会参加回数 9回（6校） ・補助金交付額 4,424,962円 																														
成 果		<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>7校（11件）</td> <td>8校（13件）</td> <td>6校（10件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>812,351円</td> <td>1,090,835円</td> <td>934,491円</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>17校（51件）</td> <td>17校（57件）</td> <td>19校（69件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>2,198,245円</td> <td>3,882,395円</td> <td>4,424,962円</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H25	H26	H27	補助対象校（補助件数）	7校（11件）	8校（13件）	6校（10件）	補助金交付額	812,351円	1,090,835円	934,491円	主な指標項目	H25	H26	H27	補助対象校（補助件数）	17校（51件）	17校（57件）	19校（69件）	補助金交付額	2,198,245円	3,882,395円	4,424,962円
主な指標項目	H25	H26	H27																													
補助対象校（補助件数）	7校（11件）	8校（13件）	6校（10件）																													
補助金交付額	812,351円	1,090,835円	934,491円																													
主な指標項目	H25	H26	H27																													
補助対象校（補助件数）	17校（51件）	17校（57件）	19校（69件）																													
補助金交付額	2,198,245円	3,882,395円	4,424,962円																													
成果に係る評価		<p>各種大会参加校への補助金交付により、保護者の負担を軽減し、文化活動及び体育活動の充実を図っていくため、継続して本事業を実施する必要がある。</p>																														
（単位：円）																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																									
		5,684,812	5,359,453					5,359,453																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	奨学金資金費																				
事業コード		002-001-003-00230	事 業 名	奨学金貸与事業																				
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																						
取組実績		<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で30名の新規貸与者を決定した。 平成27年度より大学生、専修学校専門課程、高等専門学校第4学年以上の貸与額を35,000円から45,000円に変更した。</p> <p>(2) 貸与区分(月額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高専在学</td> <td>第3学年まで 第4学年以上</td> <td>15,000円 45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学(専門課程)</td> <td></td> <td>45,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 63名 (4) 貸与金額 24,790,000円</p>							区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学(専門課程)		45,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 第4学年以上	15,000円 45,000円																				
大学在学	45,000円	専修学校在学(専門課程)		45,000円																				
成 果		<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)</td> <td>71名(20名)</td> <td>47名(12名)</td> <td>63名(30名)</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>26,700,000円</td> <td>16,620,000円</td> <td>24,790,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>49,155,900円</td> <td>50,276,800円</td> <td>57,349,100円</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H25	H26	H27	奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	71名(20名)	47名(12名)	63名(30名)	貸与金額	26,700,000円	16,620,000円	24,790,000円	滞納額	49,155,900円	50,276,800円	57,349,100円
主な指標項目	H25	H26	H27																					
奨学金貸与者数 (うち新規貸与者数)	71名(20名)	47名(12名)	63名(30名)																					
貸与金額	26,700,000円	16,620,000円	24,790,000円																					
滞納額	49,155,900円	50,276,800円	57,349,100円																					
成果に係る評価		<p>新規貸与者が昨年度より18名増えたことは、貸与額を増額した効果と考えられる。今後も市報、ホームページへの掲載、管内学校への通知など従来の周知方法に加え、利用者を増やすための施策を実施していくこととする。 償還については、滞納額の増加に対し、相手の状況に配慮しながら効果的な滞納対策に努める。</p>																						
(単位:円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	40,202,000	25,175,760			25,175,760																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																					
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																								
事業コード		002-001-002-00235	事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																								
目的及び事業内容		いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会の実施</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会、講演会の実施</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布</p> <p>4 「Stopいじめ!石巻子どもサミット」の実施</p>																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会の実施 (1) 生徒指導上の喫緊の課題であるネットトラブルの問題に対応するため、市内教職員・保護者を対象に講演会を実施した。 (2) いじめ問題の根幹にかかわる人権について、市内教職員・保護者を対象に弁護士を招いて講演会を開催した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語(小・中・高)、いじめ防止メッセージ(中・高)を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ!石巻子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> <p>5 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>61件</td> <td>58件</td> <td>95.1%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>55件</td> <td>55件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>117件</td> <td>114件</td> <td>97.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成27年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの件数	解消件数	解消率	小 学 校	61件	58件	95.1%	中 学 校	55件	55件	100%	高 校	1件	1件	100%	計	117件	114件	97.4%
区 分	いじめの件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	61件	58件	95.1%																									
中 学 校	55件	55件	100%																									
高 校	1件	1件	100%																									
計	117件	114件	97.4%																									
成果に係る評価		<p>いじめの解消率は90%を超えており、各学校において、意識を高くして児童生徒の見守りをし、組織的に早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果が表れているととらえている。今後も、未然防止に向けて取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校をあげて組織的に解決、解消に努めることが大切である。また、ネットトラブル等、目に見えにくい問題も懸念される。日ごろの道徳の時間の指導に重点を置き、学校のすべての活動において道徳教育の充実に全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。また、これまで以上に教員のもつアンテナを高くしながら、子どもたちの様子等を把握していく必要がある。</p>																										
(単位:円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	2,710,649	496,282					496,282																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()											
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()											
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()											
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		外国青年英語指導費													
事業コード		002-003-001-00225	事 業 名		国際理解教育推進事業													
目的及び事業内容		幼稚園、小中学校及び高等学校における A L T（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中学校・高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園・けやき教室における国際理解教育の推進																
取 組 実 績		1 市立中学校・高等学校 A L T 10 人（J E T 1 人、N O N - J E T 9 人）を配置し、各校週1～3回程度の配置で、1日当たり5時間程度の授業を行った。 J E T プログラムの A L T については、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。また、学校での業務のほか、広域行政事務組合「おにぎり大使派遣事業」の英語事前研修の講師、地域振興課事業に参加することなどで、広く地域の国際理解や国際交流に寄与している。 2 市立小学校 5・6年生で行われている外国語活動の授業に合わせて週1回程度配置し、担任教師と連携しながら、児童が楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるよう活動を行った。 3 市立幼稚園・けやき教室 月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。 ※ J E T プログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（C L A I R）の協力の下に実施。																
成 果		A L T を中学校、高等学校を中心に小学校・幼稚園・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>79.0%</td> <td>80.4%</td> <td>79.9%</td> <td>81.3%</td> </tr> </table>							主な指標項目	H24	H25	H26	H27	A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	79.0%	80.4%	79.9%	81.3%
主な指標項目	H24	H25	H26	H27														
A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	79.0%	80.4%	79.9%	81.3%														
成果に係る評価		平成23年度から小学校で外国語活動が完全実施され、A L T と担任が協力して外国語活動の授業の充実に向けている。小学校においては、A L T との授業が楽しいと感じる児童の割合は88.5%である。中学校においても、1年生については86.2%と、80%を超えているが、学力差が顕著になってくる2年生においては76.6%であり、英語という教科そのものに対する苦手意識が数値に表れ、学年が上がるにつれ、数値が低くなる傾向にある。学校によっても差が見られるので、A L T の指導力を含め今後の改善を図っていく。 また、毎回の授業に A L T が配置されることが望ましいことと、小学校高学年の英語の教科化と中学年の外国語活動実施を見据え、段階的に A L T の人数を増やしていく必要がある。																
（単位：円）																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	46,177,061		46,117,940					46,117,940										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業		子どもの未来づくり事業費			
事業コード		002-001-002-00232	事 業 名		石巻・子どもの未来づくり事業			
目的及び事業内容		石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上をとおし、未来を生きる力の育成を図る。 1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教師の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「志を高める取組を小中連携により充実」の具体的な方策について検討し、事業を行う。 2 小・中学校校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。 3 子どもの未来づくり推進地区連絡協議会の設置 各地区の取り組み内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。						
取 組 実 績		1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムを2回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果をまとめ、「事業報告書、実践事例集」にまとめ、活用を図った。 (5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小中学校が連携して弁論大会や体験活動の交流会等を実施した。 2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。 (3) 実践成果発表会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。 3 教師の指導力向上、学習指導の改善を図る取組 (1) 推進モデル校を定め、そこを中心に大学教授を招いての学習指導の改善を図る研修会を8回実施した。						
成 果		1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が図られた。 2 事業実施手法等の工夫により、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。 3 各推進地区で作成した家庭学習カードの工夫、活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。 4 被災によって連携事業が困難となった学校があったが、それぞれ工夫して連携を行った。 5 市内のすべての小中学校において、学習指導の改善を図る研修会に基づく取組が行われた。						
成果に係る評価		小・中連携の推進等、各地区における取組は一定の成果を得ていると思われるが、家庭学習習慣の形成については、「家庭学習の手引き」や家庭学習カードの有効活用により、学習の習慣化を促し、家庭教育の充実を図る取り組みを継続していく必要がある。また、教員の指導力向上を図る取組として実施した研修会は、学習指導の改善が図れるものと期待できる。今後も、全市的に取組めるような研修会等を教育委員会が主体となって実施していく必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	3,525,000		3,010,902				2,000,000	1,010,902

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P 18	中 事 業		適応指導教室運営費																			
事業コード		002-001-002-00227	事 業 名		適応指導教室運営事業																			
<p>目的及び事業内容</p> <p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																								
<p>取 組 実 績</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成が図られた。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>																								
<p>成 果</p> <p>適応指導教室における個に応じた学習支援により、学習することの楽しさを感じ、「わかる」という自信をもつことができた児童生徒がいた。また、親身な教育相談活動や充実した体験活動により、対人関係の苦手意識を少しずつ克服することができた児童生徒がいた。そのことと、保護者や学校との連携強化により、児童生徒が学校への再登校の意欲を高め、数日ではあるが登校した生徒もいた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H25</th> <th style="width: 15%;">H26</th> <th style="width: 15%;">H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>108件</td> <td>103件</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>20.0%</td> <td>42.8%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>40.0%</td> <td>71.4%</td> <td>22.2%</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H25	H26	H27	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	108件	103件	31件	通所児童生徒の再登校率	20.0%	42.8%	0.0%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	40.0%	71.4%	22.2%
主な指標項目	H25	H26	H27																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	108件	103件	31件																					
通所児童生徒の再登校率	20.0%	42.8%	0.0%																					
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	40.0%	71.4%	22.2%																					
<p>成果に係る評価</p> <p>各々の学校で改善の努力はしているが、不登校の要因は複雑化し指導が困難な事例が多い。それらの学校から不登校児童生徒やその保護者に対して「適応指導教室」の紹介を行ってはいるが、実際に適応指導教室との相談や体験通所にまでつなげることが難しい状況の不登校児童生徒が多くなっている。学校のみならず、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。また、適応指導教室に通所してきた児童生徒の中には、頑張っただけで再登校までこぎつけたものの、また戻ってきてしまったり、適応指導教室にも通所困難になったりする児童生徒もいた。さらには、適応指導教室に通所することで満足してしまっているような児童生徒や保護者もいると考える。適応指導教室に通所することが目的ではなく、学校復帰のための一手段として効果的に利用できることを、不登校で悩んでいる児童生徒や保護者に対し、広く周知することが必要である。</p>																								
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	5,545,939		5,216,396				317,000	4,899,396																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業		特別支援教育事業費			
事業コード		002-001-002-00228	事 業 名		特別支援教育支援員配置事業			
<p>目的及び事業内容</p> <p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小中学校への支援員の配置</p> <p>2 当該児童生徒への支援の工夫</p>								
<p>取 組 実 績</p> <p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 28校に配置 石巻小、住吉小、湊小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川小、大谷地小、広瀬小、須江小、北村小、前谷地小、和瀬小、鹿又小、桃生小、中津山第一小、中津山第二小、北上小、蛇田中</p> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援 通常の学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙等の子どもたちへの学習・生活支援をするなどし、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、東北福祉大学 教育学部教育学科 教授 庭野賀津子氏を講師として招聘し、「発達障害の理解と支援～幼児期から青年期にかけて～」の演題で研修会を開催した。また、分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換をした。</p>								
<p>成 果</p> <p>特別支援教育支援員配置事業の実施によって、特別な配慮を要する児童生徒の実態に応じたきめ細やかな支援が可能となり、学習・生活指導の充実が図られ、個々の能力が伸長された。また、担任等からは、周囲の子どもたちも落ち着いて学習に取り組むようになり、配慮を要する児童生徒への理解も深まってきたという声が多く寄せられている。さらに、支援対象児童生徒の保護者も、こうした支援体制に満足感を抱いている。 支援員を対象とした研修会を実施したことで、支援員の意識やスキルの向上が図られた。また、各校の支援員の情報交換も行ったことで、支援員のネットワークが強化された。</p>								
<p>成果に係る評価</p> <p>支援体制の充実が図られてはいるものの、引き続きインクルーシブ教育を推進していくためには、今後も通常学級における支援を充実させていく必要がある。支援員は、通常学級で生活する障害のある児童生徒を支援し、共に学ぶ機会を支えている。障害のある児童生徒は、共に学ぶことで人のかかわりの喜びを感じるとともに自己の社会性を向上させることができる。一方、他の児童生徒も、障害を理解したり、自己理解・他者理解を深めたりすることにつながってくる。そうした両者の交流は、将来の共生社会を築く土台となるものである。そういった効果が得られる支援員配置事業に対して、学校や保護者からは、今後も子どもたちのために事業拡充を望む声が多く寄せられている。今後も、支援員の配置人数の拡充に努めていく。</p>								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	59,214,000		57,101,506					57,101,506

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																
実施計画掲載ページ		P 20	中 事 業		定住外国人就学支援事業費																		
事業コード		002-001-002-00238	事 業 名		定住外国人就学支援事業																		
目的及び事業内容		石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を円滑に市立小中学校に受け入れするため、外国語を話すことができる就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートをする。																					
取組実績		支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる外国人支援員（パート職員）を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>7人（7校）</td> <td>8人（8校）</td> <td>4人（4校）</td> <td>6人（5校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>主な支援母国語は、スペイン語、タガログ語、英語などである。</p>							主な指標項目	H24	H25	H26	H27	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	7人（7校）	8人（8校）	4人（4校）	6人（5校）	配置した支援員数	8人	7人	4人	6人
主な指標項目	H24	H25	H26	H27																			
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	7人（7校）	8人（8校）	4人（4校）	6人（5校）																			
配置した支援員数	8人	7人	4人	6人																			
成 果		平成27年度は、市立小・中学校5校の6人の児童生徒に対し、支援員6人を配置して学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、併せて当該学校や担当教師の支援の役割も担った。年度途中で新たに配置希望をするケースがあるので、支援員の安定した確保が必要である。																					
成果に係る評価		支援員の配置を必要とする小・中学校に対して、概ね支援員を配置し支援をすることができた。しかし、ベンガル語やタガログ語など、言語の種類によっては、対応できる支援員が見つからず、配置まで時間がかかり、結果として英語で対応したケースがある。 平成27年度の年度当初における支援員の配置希望人数は2人であったが、年度途中の転入により、結果として6人の配置となった。石巻市の定住外国人の数は増加傾向にあり、今後も新たに支援員配置希望があることが見込まれ、今後も継続して事業を実施する必要がある。																					
予算の執行状況		(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	2,392,000	1,994,850				1,994,850																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 節			()	
	7 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業		学び支援コーディネーター等配置事業費			
事業コード			事 業 名		学び支援コーディネーター等配置事業			
目的及び事業内容		東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など住環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。						
取組実績		<p>1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】</p> <p>(1) 開催日時 平成27年8月5日～7日 17～18日 小学生：9:30～12:00 中学生：13:00～15:30</p> <p>(2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生</p> <p>(3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。</p> <p>2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等】</p> <p>(1) 開催日時 平成27年5月下旬～平成28年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。</p> <p>(2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生</p> <p>(3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。</p>						
成 果		<p>1 仮設住宅等で家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。</p> <p><夏休み学び教室> 実施回数： 10回（小学生 5回、中学生 5回） 参加者数： 481名（小学生 212名、中学生 269名 述べ人数） 学び相談員・支援員：180名 高校生ボランティア：83名（述べ人数）</p> <p><放課後学び教室> 実施回数：1,004回（小学生 753回、中学生 251回） 参加者数：21,152名（小学生 18,651名、中学生 2,501名 述べ人数） 学び相談員・支援員：1,993名（述べ人数）</p> <p>2 夏休み学び教室は、参加した多くの児童生徒とその保護者に好評であり、「来年も参加したい」という声が多く寄せられた。また、大学生の学び支援員や地元高校生のボランティアが多く参加したことで、児童生徒も質問などをしながら、意欲的に学習している姿が見られた。</p> <p>3 家庭学習が十分にできなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲をもつようになってきている。</p> <p>4 学び相談員や支援員が児童生徒一人一人を褒めて温かく学習を見守り、困っている時には適切に対応したことで、児童生徒の自己肯定感を高めた。</p> <p>5 放課後学び教室は、小学校16校、中学校9校で開設した。平成24年度の事業開始から、年々増加している。また、今後も本事業の継続を望む声（児童生徒、保護者、学校）は、延べ23校から寄せられている。</p>						
成果に係る評価		4年目の事業として軌道に乗り、児童生徒の学習習慣の形成や主体的な学習態度の育成については一定の成果が得られたが、次の2点については改善の必要がある。						
		<p>1 夏休み学び教室に参加するには保護者の送迎に頼らざるを得ず、遠隔地の児童生徒の参加には限界がある。平成27年度は1地区で小合同の夏休み学び教室を、4小学校1中学校で夏季休業中の学び教室を開催して対応した。今後も開催地区や開催校を増やしていく必要がある。</p> <p>2 へき地地域への学び相談員・支援員の配置に苦慮している。平成27年度は、2校に配置できたが、1校には配置できなかった。逆に、参加人数の多い学校に、それに見合う人数の相談員・支援員を配置できないことがあった。相談員・支援員の増員及び配置のやりくりを一層工夫する必要がある。</p>						
予算の執行状況		(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	8,060,000	6,386,915	6,386,915					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる																				
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施																				
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業		スクールカウンセラー配置事業費																						
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																						
目的及び事業内容		カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。 1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施																									
取組実績		1 スクールカウンセラーの配置 中学校全20校に配置（中学校カウンセラー及び広域スクールカウンセラー） 希望した小学校34校に配置（広域スクールカウンセラー） ※配置を希望しない学校は、別途支援により配置中 2 カウンセラーの配置状況 (1) 中学校 年間19～38回、小学校 年間5～38回 (2) 1回あたりの時間（県で決定） 6～8時間 3 カウンセリング研修等の実施 各学校で研修日を設定して実施 （内容）カウンセリング実技研修、エンカウンター実習など																									
成 果		中学校はもとより多くの小学校にもスクールカウンセラーが配置されており、スクールカウンセラーに相談できる体制が整備されつつある。それが相談件数の増加につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,241件</td> <td>5,700件</td> <td>6,492件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>5,857人</td> <td>6,817人</td> <td>7,657人</td> </tr> </tbody> </table>		主な指標項目	H25	H26	H27	相談件数	5,241件	5,700件	6,492件	相談人数	5,857人	6,817人	7,657人	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H27相談人数割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒</td> <td>38.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>14.9%</td> </tr> </tbody> </table>		H27相談人数割合		児童生徒	38.4%	教職員	46.7%	保護者	14.9%		
主な指標項目	H25	H26	H27																								
相談件数	5,241件	5,700件	6,492件																								
相談人数	5,857人	6,817人	7,657人																								
H27相談人数割合																											
児童生徒	38.4%																										
教職員	46.7%																										
保護者	14.9%																										
成果に係る評価		平成27年度は希望校全てにスクールカウンセラーを配置した。児童生徒に対する心理面における専門的指導の重要性を考慮して、的確に配置できた。また、配置校の児童・生徒・保護者・教職員からの相談に対応し、配置校内で教職員向けの研修会等も実施し、積極的な生徒指導につながっていると考えられる。震災後の心のケアの面からも、長期的にカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。																									
（単位：円）																											
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
		550,000	285,459			285,459																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																											
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる																											
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施																											
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業		スクールソーシャルワーカー配置事業費																													
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名		スクールソーシャルワーカー配置事業																													
目的及び事業内容		小中学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。 1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働きかけを行う 2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める 3 市内小中学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する 4 市内小中学校の教職員・保護者への相談や、研修会等での啓発活動・情報提供に努める																																
取組実績		スクールソーシャルワーカーについて（平成27年度6名配置） 1 児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携して対応している。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働きかけている。 ○配置状況（平成28年3月末現在） 6名配置 <table border="1"> <thead> <tr> <th>拠点校</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻小、大川小、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>向陽小、青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>渡液中、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> </tbody> </table> 2 訪問活動：勤務総日数延べ455日（家庭訪問延べ114件、学校訪問714件） 連携した機関：児童相談所、健康推進課、市民相談センター（虐待防止センター）、精神科医、警察署等						拠点校	勤務時間、日数	石巻小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日	渡液中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日	桜坂高校	1日 6時間、週2日													
拠点校	勤務時間、日数																																	
石巻小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日																																	
向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日																																	
渡液中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日																																	
石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																																	
万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																	
桜坂高校	1日 6時間、週2日																																	
成 果		1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。 2 問題を抱える児童生徒の家庭訪問等を行い、少しずつ登校できるようになった。 3 震災の影響で子どもに目を向ける余裕のない保護者の話をじっくり聞くことにより、気持ちの余裕が出てきた。 4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。 5 スクールソーシャルワーカーを6名配置することにより、これまでできなかった様々なケースにも対応できた。 ○支援対象児童生徒数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>80人</td> <td>80人</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>100人</td> <td>100人</td> <td>77人</td> </tr> </tbody> </table> ○相談後の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度相談件数（計288件）</td> <td>39件</td> <td>117件</td> <td>117件</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>13%</td> <td>41%</td> <td>41%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>						主な指標項目	H25	H26	H27	小学生	80人	80人	122人	中学生	100人	100人	77人		問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	27年度相談件数（計288件）	39件	117件	117件	15件	割合	13%	41%	41%	5%
主な指標項目	H25	H26	H27																															
小学生	80人	80人	122人																															
中学生	100人	100人	77人																															
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																														
27年度相談件数（計288件）	39件	117件	117件	15件																														
割合	13%	41%	41%	5%																														
成果に係る評価		家庭問題、暴力行為、児童虐待、非行・不良行為、発達障害等の児童生徒に係る諸問題など、学校だけでは対応が難しいケースにスクールソーシャルワーカーが調整に入ることで、問題が解決または好転している。経験を積み、研修も重ねているスクールソーシャルワーカーが対応しているため、各スクールソーシャルワーカーに対する各学校からの信頼も厚い。今後、長期的に事業を活用していきたい。																																
（単位：円）																																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
		11,948,000	10,411,987	10,411,987																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																												
	1 項	教育総務費				(1)	未来の人を育てる																												
	7 目	東日本大震災関係費				(3)	子どものケアの実施																												
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																															
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																															
目的及び事業内容		カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。 1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動																																	
取 組 実 績		1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立桜坂高等学校に1名配置 2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間60日の勤務を原則とし、週2日(火・木)の勤務体制でカウンセリングを実施した。 3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリングに関する講座の実施(2回) (2) 教育相談情報交換会・ケース会議(3回)の実施																																	
成 果		生徒の不安や悩みは、学校生活や友人関係などの場合でも、詳しく話を聞くと、家庭内の多種多様な不満やめ事なども合わせて抱え込んでいる場合が多い。そのため、学校でも家庭でも相談をする相手がなく、一人で悩みを解決できずにいる。そのような生徒たちがカウンセリングを受けることにより、カウンセラーとの関わりの中で、問題を解決する糸口や対処法を見つけ、学校生活を送れるようになっていくケースが多くあった。また、保護者の利用も多く、子どもへの接し方や、保護者自身の不安(経済的・時間的・精神的なゆとりが無い)などについて、カウンセラーと相談していく中でよい方向へ向かうケースもあった。																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>245件</td> <td>292件</td> <td>285件</td> <td>222件</td> <td>226件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>314人</td> <td>358人</td> <td>354人</td> <td>272人</td> <td>333人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>85人</td> <td>231人</td> <td>17人</td> <td>333人</td> </tr> </tbody> </table> ※生徒の相談内容は、多い順に「学校生活：25件」「友人関係・家庭関係：16件」「学校不適應：14件」である。 ※教職員の相談件数は、「情報交換」だけで224件である。 ※「震災関係」の相談はなかった。						主な指標項目	H23	H24	H25	H26	H27	相談件数	245件	292件	285件	222件	226件	相談人数	314人	358人	354人	272人	333人	H27相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	桜坂高校	85人	231人	17人	333人
主な指標項目	H23	H24	H25	H26	H27																														
相談件数	245件	292件	285件	222件	226件																														
相談人数	314人	358人	354人	272人	333人																														
H27相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																															
桜坂高校	85人	231人	17人	333人																															
成果に係る評価		二つの学校が一つの学校となり、桜坂高校が開校した。それぞれの学校の生徒たちは、今までの学校生活とは違い、何かに付けストレスを感じての学校生活を送る中で、相談件数の多い順でも分かるように、「学校生活」「友人関係」「学校不適應」と、統合したことについてのストレスを感じていた。生徒はカウンセラーとの相談の中で、心を安定させて学校生活を続けて行くことができた。これらのことから、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,881,000	1,880,400			1,880,400																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す															
	1 項	教育総務費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保															
	7 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援															
実施計画掲載ページ		P148	中 事 業	震災奨学金給付事業費																		
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名	震災奨学金給付事業																		
目的及び事業内容		東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。																				
取組実績		1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に中学校3年生と高校3年生に一時金を給付した。 (1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。未就学児においては、小学校へ入学後、給付開始とする。 (2) 給付額 ア 月額(年額) 小学校等に在学する者 10,000円(120,000円) 中学校等に在学する者 20,000円(240,000円) 高等学校等に在学する者 30,000円(360,000円) イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円 (3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。																				
成 果		平成27年度は小学生7名、中学生10名、高校生10名の計27名の震災孤児に奨学金を給付した。																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>7人</td> <td>930,000円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>10人</td> <td>2,760,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>10人</td> <td>3,600,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27人</td> <td>7,290,000円</td> </tr> </tbody> </table> } 平成26年度遡及額を含む 一時金として、中学生2名、高校生3名の震災孤児に給付をした。						区分	人数	給付額	小学生	7人	930,000円	中学生	10人	2,760,000円	高校生	10人	3,600,000円	合計	27人	7,290,000円
区分	人数	給付額																				
小学生	7人	930,000円																				
中学生	10人	2,760,000円																				
高校生	10人	3,600,000円																				
合計	27人	7,290,000円																				
成果に係る評価		震災奨学金の給付により、児童生徒への教育の充実が図られた。																				
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	9,390,000	9,390,000			9,390,000																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ	P195		中 事 業	震災心のサポート事業費			
事業コード	004-103-002-00526	事 業 名	心のケア充実事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家による巡回相談や健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>						
取 組 実 績	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務(平成27年度委託契約)</p> <p>(1) 医療専門家による巡回相談の実施・・・震災直後から支援に入っている国立国際医療研究センター国府台病院(千葉県)の児童精神科の医師が定期的に来石し、要請に基づいて、問題を抱えた児童生徒やその保護者、教員に対する相談活動を行っている。</p> <p>(2) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態に関するデータを集約し、その結果について各園・学校にフィードバックを行い、支援や指導の充実に役立てている。</p> <p>(3) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・毎月関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を行っている。</p> <p>2 震災心の支援室事務 希望による個別訪問、電話、来室相談等の実施、交流会の開催、関係機関との連絡調整</p>						
成 果	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務</p> <p>(1) 毎月、1～3名の児童精神科の医師が2～3日間石巻市に滞在し、要請のあった学校及び家庭等を訪問し、相談活動を行った。専門的な立場からアドバイスをし、支援や指導に役立てているとともに、必要な場合は、県内の病院につなぐケースもある。平成27年度は、のべ17日間にわたって、86件の相談に対応した。</p> <p>(2) 児童精神科医が、平成23年度から継続して実態調査を行い、データに基づいて、支援や指導のアドバイスを行っている。トラウマについては、平成25年度と平成26年度の間であまり変化が見られないことから、一応落ち着いたとの判断をした。フィードバックの際は、学校ごとに面談し、全体の傾向だけでなく、学校の傾向や配慮を必要とする児童生徒についてもアドバイスをし、その後の指導に生かしている。</p> <p>(3) 毎月、「石巻市子ども支援関係者会議」を開催し、関係機関が出席して問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立てている。</p> <p>(メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、児童相談所、虐待防止センター、保護課、健康推進課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室事務 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室によりお話しをお伺いすることや、御遺族からの要望を受けて交流会を開催する事ができた。</p>						
成果に係る評価	<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 相談活動への児童生徒、保護者、教員のニーズは非常に高い。健康実態調査についても、積極的な支援や指導を行う上で役に立っている。子ども支援会議は、様々な立場から話し合いを行う機会として大切な役割を担っている。</p> <p>2 震災心の支援室事務 震災直後から現在までの御遺族に対する心の支援は決して十分とは言えない状況であるため、可能な限り心の安定に寄与できるよう、継続的なサポートを行うことが重要課題である。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳				
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,243,000	6,028,657			6,028,657		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ	P196		中 事 業	防災教育充実事業費			
事業コード	004-103-002-00528	事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容	<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進</p> <p>2 児童生徒の災害対応力の育成のための学校教材等の作成</p>						
取 組 実 績	<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当者等で構成する学校防災推進会議において、市としての学校防災の今後の在り方について協議を行い、協議結果を基に具体的な事業を展開した。主な事業としては、「防災主任を対象にした研修会の実施」、「地域防災連絡会の設置促進」、「防災教育副読本の改訂版及び追補版の作成」、「学校防災マニュアルのチェックリストによる点検及び改善の指導」を行った。また、小・中・高校生を対象にした「防災合言葉コンクール」を実施した。</p> <p>2 防災教育副読本の発行 本市の実態に即した防災教育推進のため、平成27年度防災教育副読本編集委員会を設置し、副読本の改訂を行い、市内全児童生徒に防災教育副読本(改訂版・追補版)を配布した。平成27年度まで使用してきた防災教育副読本の内容が、「地震・津波」に特化していたことから、平成28年度版の内容は、「地震・津波」のほか、風水害、火災、原子力災害及び東日本大震災からの復興に目を向けた学習内容となっている。</p> <p><平成28年度版発行実績> (小学校) 1年生 1,200冊(改訂版) 2年生 1,200冊(追補版) 3年生 1,300冊(追補版) 4年生 1,300冊(改訂版) 5年生 1,200冊(追補版) 6年生 1,400冊(追補版) (中学校) 1年生 1,400冊(改訂版) 2年生 1,400冊(追補版) 3年生 1,500冊(追補版)</p>						
成 果	<p>1 学校防災推進会議では、各ワーキンググループのテーマに基づき、具体的な事業を実施した。「学校防災マニュアルのチェックリストによる点検及び改善の指導」では、各担当者が市内全学校の防災主任に学校防災マニュアルに対する指導を行ったことにより、より内容の充実が図られた。また、「地域防災連絡会の設置促進」では、平成26年度から防災主任研修会等で地域防災連絡会の設置を促してきており、その設置率は、平成26年度は62.5%であったが、平成27年度では77%まで向上した。市内全学校園で実施している避難訓練に学校安全推進課担当職員が訪問し、指導・助言を行うことで、意識の啓発に繋がった。訪問を通して、地域や保護者との連携の仕方や児童生徒の命を守る体制が構築されつつあることが分かった。</p> <p>2 副読本を活用した防災教育を展開することにより、児童生徒の防災に関する知識と災害対応力が向上した。</p>						
成果に係る評価	<p>東日本大震災を教訓とした災害対応に当たっては、地域と学校の連携した取組みが重要である。今後も地域防災連絡会の設置について継続して呼び掛けていきたい。</p> <p>また、学校では、地域と連携し避難訓練を実施することにより、学校防災の一層の充実を図ることができた。今後も各校で実施している避難訓練の充実を図るとともに、防災教育副読本を活用した防災教育を進めることにより、児童生徒に「自分の命は自分で守る」ことの重要性を訴えていく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳				
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	4,105,000	3,480,210			3,480,210		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																						
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																						
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																						
実施計画掲載ページ	P21		中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																									
事業コード	002-001-003-00217		事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																									
目的及び事業内容	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付 																																												
取組実績	<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H26</td> <td>7校</td> <td>255人</td> <td>48,912,984 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>8校</td> <td>281人</td> <td>62,252,568 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート（鮎川小学校）</td> <td>H26</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>3,090,360 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>3,582,520 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H27） 稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、大須小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H26</td> <td>2校</td> <td>46人</td> <td>1,912,853 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2校</td> <td>45人</td> <td>1,614,060 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遠距離通学補助金対象校（H27） 大谷地小学校、二俣小学校</p>								区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H26	7校	255人	48,912,984 円	H27	8校	281人	62,252,568 円	スクールボート（鮎川小学校）	H26	1校	1人	3,090,360 円	H27	1校	1人	3,582,520 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	H26	2校	46人	1,912,853 円	H27	2校	45人	1,614,060 円
	区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																								
	スクールバス等	H26	7校	255人	48,912,984 円																																								
H27		8校	281人	62,252,568 円																																									
スクールボート（鮎川小学校）	H26	1校	1人	3,090,360 円																																									
	H27	1校	1人	3,582,520 円																																									
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																									
遠距離通学費補助金	H26	2校	46人	1,912,853 円																																									
	H27	2校	45人	1,614,060 円																																									
成 果	<p>小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																																												
成果に係る評価	<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保を図るため、今後も地域の実情に配慮しながら適正な通学支援を実施する必要がある。</p>																																												
（単位：円）																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	70,268,000	67,449,148	6,208,924			61,240,224																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																
実施計画掲載ページ	P29		中 事 業	小学校管理費（学校教育課）																			
事業コード	002-003-001-00234		事 業 名	小学校外国語活動指導補助員活用事業																			
目的及び事業内容	<p>小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。</p>																						
取組実績	<p>小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践 支援員は、1クラス当たり年間25時間の外国語活動の補助を行った。 なお、外国語活動は年間35時間だが、残りの10時間は外国語指導助手（ALT）とのチームティーチングを行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>30校</td> <td>29校</td> <td>28校</td> <td>26校</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>9人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H24	H25	H26	H27	配置を希望する学校数	30校	29校	28校	26校	配置した支援員数	8人	9人	9人	10人
	主な指標項目	H24	H25	H26	H27																		
	配置を希望する学校数	30校	29校	28校	26校																		
配置した支援員数	8人	9人	9人	10人																			
成 果	<p>1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語が堪能な補助員による英語での指示を聞いて活動することや、一緒に会話をするにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…90.6%) (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、会話の場面のイメージを膨らませることができ、外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援は、英語を聞くことや話すことを中心としたコミュニケーション能力を高める手段として有効であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上 指導補助員が適切に補助を行うことにより、外国語活動を指導する担任等が安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことができ、指導力の向上につながった。</p>																						
成果に係る評価	<p>英語が堪能な地域人材が授業に入るにより、児童が英語に触れる機会が増えている。指導の経験を重ねている補助員がほとんどであり、小学校での外国語教育のノウハウを持った補助員を配置することができている。 さらに、小学校の英語の教科化と3学年からの外国語活動実施を見据え、外国語活動と英語科への指導員を希望する全小学校への配置を目指し、外国語指導助手（ALT）と調整しながら、補助員を確保していく必要がある。</p>																						
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	3,952,000	2,988,108				2,988,108																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P17	中 事 業		小学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校） 学校医・薬剤師配置事業（小学校）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持、増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 小学校35校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>28 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>4 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>29 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 小学校35校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>23 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1・4年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>2・4・6年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td>寄生虫卵検査</td> <td>1・2・3年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>							内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	4 人	歯 科 医	29 人	薬 剤 師	23 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生	耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年	寄生虫卵検査	1・2・3年生
内 科 医	28 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	4 人	歯 科 医	29 人																																			
薬 剤 師	23 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生																																			
耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年	寄生虫卵検査	1・2・3年生																																			
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 小学生 7,021人 心臓病検診 1年生 1,133人 4年生 1,104人</p> <p>2 飲料水水質検査 小学校 35校</p>																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、児童に対して的確な予防指導を行っていく上で重要である。</p> <p>今後も学校医、学校、保護者等相互の連携のもと児童の健全育成のため事業を継続する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	39,831,000		38,226,752		450,000			37,776,752																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P17	中 事 業		小学校保健費			
事業コード		002-001-002-00220	事 業 名		就学時健康診断実施事業			
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握し、必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p>						
取組実績		<p>就学予定児の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査を実施した。</p>						
成 果		<p>就学予定児の保護者に対し、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。</p> <p>就学時健康診断 1,033人</p>						
成果に係る評価		<p>学校教育法及び学校保健安全法に基づいた事業であり、次年度就学予定児の健康状態を把握し、保護者に対して必要な助言・指導を行うため、今後も継続する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,002,000		3,659,860					3,659,860

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P22		中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取 組 実 績	小学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		教育用コンピューター	電子黒板	タブレット				
H21	河北地区 5校： 86台	河北地区 5校： 10台						
	桃生地区 3校： 56台	桃生地区 3校： 6台						—
H22	河南地区 6校： 127台	河南地区 6校： 12台						
	牡鹿地区 4校： 42台	牡鹿地区 4校： 8台						—
H25	河北地区 1校： 7台	河北地区 1校： 1台	河北地区 1校： 6台					
	雄勝地区 2校： 5台	雄勝地区 2校： 3台	雄勝地区 2校： 12台					
	北上地区 1校： 15台	北上地区 1校： 1台	北上地区 1校： 6台					
H26	石巻地区 8校： 152台	石巻地区 8校： 25台	石巻地区 8校： 52台					
H27	石巻地区 8校： 168台	石巻地区 8校： 40台	石巻地区 8校： 56台					
※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施 ※ 平成23、24年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。								
成 果	・児童がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・平成25年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。平成27年度は56台整備した。							
成果に係る評価	・小学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、今後も継続して整備更新していきたい。 ・デジタル教科書や電子黒板等の最新のICT機器を整備したことに伴い、より多くの教科で利用する機会が増え、児童にわかりやすい授業が展開できるようになったが、ICT機器の活用に不慣れな教員がいるため、校内研修などを実施して教員全員の活用能力向上を図っていく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	67,644,000	67,509,551				67,509,551		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																				
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																				
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																				
実施計画掲載ページ	P21		中 事 業	小学校教育振興援助費																							
事業コード	002-001-003-00222		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																							
目的及び事業内容	経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費の助成を行うことにより、経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																										
取 組 実 績	1 就学援助費																										
	認定者数 713名 / 全児童数 7,025名 (10.15%)		<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>9,249,210 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>1,523,283 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>311,809 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>6,830 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>2,374,520 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,954,988 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>30,034,368 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>637,850 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>47,092,858 円</td></tr> </table>						学用品費	9,249,210 円	校外活動費（泊無し）	1,523,283 円	校外活動費（泊付き）	311,809 円	通学費	6,830 円	新入学用品費	2,374,520 円	修学旅行費	2,954,988 円	給食費	30,034,368 円	医療費	637,850 円	計	47,092,858 円	
学用品費	9,249,210 円																										
校外活動費（泊無し）	1,523,283 円																										
校外活動費（泊付き）	311,809 円																										
通学費	6,830 円																										
新入学用品費	2,374,520 円																										
修学旅行費	2,954,988 円																										
給食費	30,034,368 円																										
医療費	637,850 円																										
計	47,092,858 円																										
取 組 実 績	2 特別支援教育就学奨励費																										
	認定者数 107名 / 全児童数 7,025名 (1.52%)		<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>266,480 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>27,356 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>10,062 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>275,835 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>40,940 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>66,551 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>981,391 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>9,939 円</td></tr> <tr><td>ことばの教室通級費</td><td>146,543 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,825,097 円</td></tr> </table>						学用品費	266,480 円	校外活動費（泊無し）	27,356 円	校外活動費（泊付き）	10,062 円	通学費	275,835 円	新入学用品費	40,940 円	修学旅行費	66,551 円	給食費	981,391 円	交流学習交通費	9,939 円	ことばの教室通級費	146,543 円	計
学用品費	266,480 円																										
校外活動費（泊無し）	27,356 円																										
校外活動費（泊付き）	10,062 円																										
通学費	275,835 円																										
新入学用品費	40,940 円																										
修学旅行費	66,551 円																										
給食費	981,391 円																										
交流学習交通費	9,939 円																										
ことばの教室通級費	146,543 円																										
計	1,825,097 円																										
成 果	経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、助成を行うことにより、経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保することができた。																										
成果に係る評価	就学援助費の助成又は特別支援教育就学奨励費の助成により、児童の就学機会に寄与することができた。 今後も経済的な事情により就学が困難な児童の保護者や特別支援学級へ就学する児童の保護者への支援を継続することにより、均等な教育機会の提供を図る必要がある。																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	49,187,000	48,917,955	1,250,000			47,667,955																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業		小学校図書整備事業費			
事業コード		002-001-003-00239	事 業 名		学校図書整備事業（小学校）			
目的及び事業内容		全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。						
取組実績		平成29年度末に全ての小学校において、学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分し充足率の向上に努めた。 平成27年度においては、整備冊数の伸びこそ少なかったが、児童の読書活動向上に役立つ図書を購入するなど質の改善に努めた。 <小学校図書の整備冊数>						
		H23	H24	H25	H26	H27		
		32,143冊	17,276冊	24,512冊	25,027冊	19,974冊		
		※ 寄贈含む。						
成 果		学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。 図書充足率のやや低い学校への予算の重点配分の結果、充足率の向上が図られ、学習効果の向上が図られた。 <小学校図書充足率達成状況>						
		達成率	H23	H24	H25	H26	H27	
		100%以上（A）	8校	9校	12校	11校	13校	
		75%以上-100%未満	11校	10校	14校	18校	17校	
		50%以上-75%未満	18校	18校	11校	8校	5校	
		50%未満	6校	5校	2校	0校	0校	
		合計（B）	43校	42校	39校	37校	35校	
		100%以上達成校の割合（A/B）	18.60%	21.43%	30.77%	29.73%	37.14%	
		※いずれも各年度末時点						
成果に係る評価		図書の購入により充足率が100%を超える学校が増加しており、学習効果の向上に十分に資していると言える。しかしながら、今後とも継続的に学校図書を学習活動に活用するためには、老朽化した図書を廃棄し、質の充実を継続的に図っていく必要がある。これらを維持しつつ、平成29年度の全校充足率100%達成を目指したい。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	21,300,000	21,274,562			6,615,000	14,659,562		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 節			()	
	3 目	学校建設費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業		山下小学校空調設備機器等機能復旧事業費			
事業コード			事 業 名		山下小学校空調設備機器等機能復旧事業			
目的及び事業内容		【目的】 本校の空調設備機器は、昭和58～昭和59年度にかけて暖房機を2基を設置したものであるが、老朽化が進み、メンテナンスの範囲において維持していくことが困難になっている。また、防衛局で定める耐用年数（15年）を超過するため、平成22年度、23年度に機能調査、平成25年度に改修設計、平成26年度に暖房機の機能復旧工事を実施する。 【事業内容】 老朽化した暖房機の機能復旧工事						
取組実績		次とおり、本事業を実施。 平成25年度 設計 平成26年度 工事 平成27年度 工事						
成 果		暖房機器の機能復旧及び学習環境の改善が図られた。						
成果に係る評価		老朽化した暖房機の機能復旧工事を実施した。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	49,164,880	46,568,560	35,336,000				11,232,560	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 節			()	
	3 目	学校建設費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	小学校施設老朽化対策事業費				
事業コード			事 業 名	小学校施設老朽化対策事業				
目的及び事業内容		老朽化が著しく進行している学校施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。 本事業は年次計画に基づき、毎年度、小学校2校について、継続事業として実施予定である。						
取 組 実 績		<p>平成27年度事業 実施校 2校：山下小学校・広瀬小学校 山下小学校：平成28年度に繰越明許 広瀬小学校：平成27年度に工事完了</p> <p>本事業は年次計画に基づき、毎年度、小学校2校について、継続事業として実施予定である。</p> <p>平成28年度予定事業 設計・工事 向陽小学校（工事は、平成28・29年度 2か年継続事業）・須江小学校 設計 万石浦小学校・蛇田小学校（両校とも工事は平成29年度実施予定）</p>						
成 果		<p>山下小学校：平成28年度に繰越明許 広瀬小学校：平成27年度に工事が完了し、施設の延命化及び学習環境の改善が図られた。</p>						
成果に係る評価		<p>広瀬小学校は年度内に工事が完了し、山下小学校は繰越明許となったが、平成28年5月に工事完了見込みであり、本事業の推進が図られた。 本事業は年次計画に基づき、毎年度、小学校2校について、継続事業として実施予定である。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	239,730,000	173,016,280		164,300,000		8,716,280		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																		
	2 項	小学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる																																		
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																		
実施計画掲載ページ		P186	中 事 業	被災児童通学支援事業費																																						
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	通学支援事業（小学校）																																						
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替え校スクールバス等の運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバス等の運行 																																								
取 組 実 績		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス等</td> <td>3 校</td> <td>91 人</td> <td>38,887,042 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>14 校</td> <td>198 人</td> <td>126,516,703 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス等</td> <td>2 校</td> <td>65 人</td> <td>19,007,870 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>354 人</td> <td>184,411,615 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <p>代替え校スクールバス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大川小学校</td> <td>仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝小学校</td> <td>仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>北上小学校</td> <td>旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊小学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用児童在籍校（H27） 石巻小学校、湊小学校、釜小学校、蛇田小学校、渡波小学校、向陽小学校、稲井小学校、開北小学校、大街道小学校、中里小学校、鹿妻小学校、飯野川小学校、雄勝小学校、北上小学校</p>							区分	学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス等	3 校	91 人	38,887,042 円	仮設住宅スクールバス等	14 校	198 人	126,516,703 円	通学路安全対策バス等	2 校	65 人	19,007,870 円	計	—	354 人	184,411,615 円	学校名	状 況	大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行	雄勝小学校	仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行	北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行	学校名	状 況	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行
区分	学校数	対象人数	金額																																							
代替え校スクールバス等	3 校	91 人	38,887,042 円																																							
仮設住宅スクールバス等	14 校	198 人	126,516,703 円																																							
通学路安全対策バス等	2 校	65 人	19,007,870 円																																							
計	—	354 人	184,411,615 円																																							
学校名	状 況																																									
大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行																																									
雄勝小学校	仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行																																									
北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行																																									
学校名	状 況																																									
湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																									
万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行																																									
成 果		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援により、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。</p>																																								
成果に係る評価		<p>東日本大震災により通学支援が必要となった児童の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。 今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を継続する必要がある。</p>																																								
(単位：円)																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	188,898,000	184,411,615	162,935,815			21,475,800																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																		
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																		
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																		
実施計画掲載ページ	P186		中 事 業	被災児童就学支援事業費																					
事業コード	004-101-001-00481		事 業 名	被災児童就学支援事業（小学校）																					
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。</p> <p>（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																								
取組実績	<p>就学援助費</p> <p>認定者数 2,049名 / 全児童数 7,025名 (29.17%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>27,193,805 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>5,523,348 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>943,378 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>5,424,550 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>6,769,333 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>87,829,584 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>221,510 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>133,905,508 円</td></tr> </table>							学用品費	27,193,805 円	校外活動費（泊無し）	5,523,348 円	校外活動費（泊付き）	943,378 円	通学費	0 円	新入学用品費	5,424,550 円	修学旅行費	6,769,333 円	給食費	87,829,584 円	医療費	221,510 円	計	133,905,508 円
	学用品費	27,193,805 円																							
校外活動費（泊無し）	5,523,348 円																								
校外活動費（泊付き）	943,378 円																								
通学費	0 円																								
新入学用品費	5,424,550 円																								
修学旅行費	6,769,333 円																								
給食費	87,829,584 円																								
医療費	221,510 円																								
計	133,905,508 円																								
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、児童の就学の機会を確保することができた。</p>																								
成果に係る評価	<p>就学援助費の助成により、被災した児童の就学機会に寄与することができた。</p> <p>今後も東日本大震災により被災し、経済的な事情により就学が困難な児童の保護者への支援を継続する必要があるが、被災者の再建状況を踏まえ、受給者の認定基準について検討する必要がある。</p>																								
（単位：円）																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																			
	134,400,000	133,905,508	133,905,508																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 節		()	
	3 項	中学校費		()		()	
4 目	東日本大震災関係費		()	()	()		
実施計画掲載ページ			中 事 業	二俣小学校耐震補強事業費 門脇中学校耐震補強事業費			
事業コード			事 業 名	学校施設耐震補強事業（小学校、中学校）			
目的及び事業内容	<p>【目的】 児童・生徒の安全確保を最優先とし、耐震診断の結果を踏まえ、学校施設の耐震化を図る。</p> <p>【事業内容】 校舎・屋内運動場等の耐震補強事業 ※予定していた耐震補強事業すべてに着手し、平成27年度の二俣小学校及び門脇中学校の繰越事業完了にて、本事業は終了した。</p>						
取組実績	<p>平成26年度に着手した次の2校は平成27年度に全て完了</p> <p>①二俣小学校（校舎） ②門脇中学校（校舎）※災害復旧事業、老朽化対策事業と同時に実施</p>						
成 果	<p>耐震補強工事を実施した事により、児童・生徒が安心して安全に学習できる環境が拡大した。</p> <p>また、学校施設は災害発生時の避難場所として重要な役割を担っているが、本事業により地域住民に安心と安全を提供する事ができた。</p>						
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどで利用する公共施設、及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。</p> <p>今回、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に実施したことで、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心の確保に寄与した。</p> <p>予定していた学校施設の耐震補強事業すべてが完了した。</p>						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	491,610,000	374,575,505	135,312,000	143,300,000		95,963,505	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる																														
	3 項	中学校費																																			
	4 目	東日本震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																														
実施計画掲載ページ		P185	中 事 業		小学校太陽光発電設備整備事業費 中学校太陽光発電設備整備事業費																																
事業コード		004-101-001-00478	事 業 名		学校施設太陽光発電設備整備事業【復興基金】																																
目的及び事業内容		指定避難場所となる学校施設において太陽光発電設備の整備を行い、非常時における電源を確保する。																																			
取組実績		<p>平成27年度 整備実績 整備校 小学校 9校 住吉小学校、山下小学校、東浜小学校、中里小学校、飯野川小学校、北村小学校、鹿又小学校、桃生小学校、寄磯小学校 中学校 7校 住吉中学校、山下中学校、青葉中学校、万石浦中学校、河北中学校、河南東中学校、河南西中学校</p> <p>平成28年度整備に向け、設計を実施した学校数 中学校 2校 北上中学校、牡鹿中学校</p>																																			
成 果		<p>学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時には、重要な役割を担っていることから、本事業により防災機能の強化が図られた。</p> <p>平成27年度は16校の整備を行い、平成27年度末では併せて29校整備された。</p> <p>太陽光発電設備整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>1 校</td> <td>3 校</td> <td>4 校</td> <td>9 校</td> <td>17 校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td></td> <td>1 校</td> <td>3 校</td> <td>7 校</td> <td>11 校</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td></td> <td></td> <td>1 校</td> <td></td> <td>1 校</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1 校</td> <td>4 校</td> <td>8 校</td> <td>16 校</td> <td>29 校</td> </tr> </tbody> </table>							H24	H25	H26	H27	合 計	小学校	1 校	3 校	4 校	9 校	17 校	中学校		1 校	3 校	7 校	11 校	高等学校			1 校		1 校	合 計	1 校	4 校	8 校	16 校	29 校
	H24	H25	H26	H27	合 計																																
小学校	1 校	3 校	4 校	9 校	17 校																																
中学校		1 校	3 校	7 校	11 校																																
高等学校			1 校		1 校																																
合 計	1 校	4 校	8 校	16 校	29 校																																
成果に係る評価		<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっても身近な公共施設であるとともに災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。</p> <p>東日本大震災時にも、市内の多くの学校が避難所となった。</p> <p>「公共施設における防災機能等の強化に関する基本方針」に基づき、防災機能の強化を推進するため、事業を継続する必要がある。</p>																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	542,332,000		542,331,072		452,851,716	85,051,356	4,428,000																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本震災関係費				()	
						(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P189	中 事 業		小学校防災機能強化事業費		
事業コード		004-101-001-00988	事 業 名		小学校防災機能強化事業		
目的及び事業内容		<p>屋内運動場の吊り天井・照明器具等の落下防止のため、天井撤去、補強、落下防止策等の改修工事を行う。</p> <p>本事業は年次計画に基づき、平成31年度の渡波小学校の工事完了をもって本事業は終了する予定である。</p> <p>平成30年度 設計 渡波小学校 平成31年度 工事 渡波小学校</p>					
取組実績		<p>平成27年度事業 実施校3校：東浜小学校・飯野川小学校・広瀬小学校 3校とも平成27年度中に防災機能強化工事が完了した。</p>					
成 果		<p>東浜小学校・飯野川小学校・広瀬小学校とも平成27年度中に防災機能強化工事が完了し、安全・安心な学習環境の推進が図られた。</p>					
成果に係る評価		<p>東浜小学校・飯野川小学校・広瀬小学校とも平成27年度中に工事が完了し、本事業の推進が図られた。</p> <p>なお、本事業は年次計画に基づき、継続事業として実施予定であり、平成31年度の渡波小学校の工事完了をもって本事業は終了する予定である。</p> <p>平成30年度 設計 渡波小学校 平成31年度 工事 渡波小学校</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	146,628,000		137,542,320		45,985,000	86,400,000	5,157,320

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	2 項	小学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる	
	3 項	中学校費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
実施計画掲載ページ		P188	中 事 業		雄勝地区小学校統合移転新築事業費 雄勝地区中学校統合移転新築事業費			
事業コード		004-101-001-00894	事 業 名		雄勝地区統合小・中学校移転新築事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災した雄勝小学校、船越小学校及び雄勝中学校の移転新築を実施する。 なお、船越小学校は平成25年4月に雄勝小学校へ統合済み。 また、大須小学校と大須中学校は、併設校開校時にそれぞれ統合する。</p> <p>・災害復旧事業：校舎、屋内運動場、プール、テニスコート、グラウンド等（別事業に掲載） ・復興交付金事業：県道側溝改修、道路照明、散策路、植栽、太陽光発電設備等</p>						
取組実績		<p>平成25年度 ・雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会を開催し、基本構想を策定。</p> <p>平成26年度 ・県道側溝改修工事基本実施設計 ・県道側溝改修工事及び工事監理</p> <p>平成27年度 ・土木外構工事実施設計（散策路、植栽） ・県道側溝改修工事及び工事監理</p>						
成 果		土木外構工事実施設計業務を実施し、平成29年度開校に向け、事業の進捗が図られた。						
成果に係る評価		県道側溝改修工事等について予定通り事業を進めることが出来たので、平成29年度開校に向けて他の工事と連携を図りながら、なお一層事業を邁進する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	31,892,182		14,651,623				10,332,000	4,319,623

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()															
	3 項	中学校費		第 1 節		()															
	1 目	学校管理費		(3)		()															
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業		中学校管理費（教育総務課）																
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名		遠距離通学支援事業（中学校）																
目的及び事業内容		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行</p>																			
取組実績		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H26</td> <td>4校</td> <td>77人</td> <td>32,094,556 円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3校</td> <td>70人</td> <td>41,340,907 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H27） 荻浜中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H26	4校	77人	32,094,556 円	H27	3校	70人	41,340,907 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	H26	4校	77人	32,094,556 円																	
	H27	3校	70人	41,340,907 円																	
成 果		<p>中学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																			
成果に係る評価		<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保を図るため、今後も地域の実情に配慮しながら適正な通学支援を実施する必要がある。</p>																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	44,484,000		41,340,907		29,626,919			11,713,988													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	中学校保健費																																		
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校） 学校医・薬剤師配置事業（中学校）																																		
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持、増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 中学校20校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>20 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>21 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 中学校20校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>17 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td>貧血・脂質検査</td> <td>2年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>							内 科 医	20 人	耳 鼻 科 医	5 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	21 人	薬 剤 師	17 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生
内 科 医	20 人	耳 鼻 科 医	5 人																																			
眼 科 医	5 人	歯 科 医	21 人																																			
薬 剤 師	17 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年	貧血・脂質検査	2年生																																			
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>4,029人</td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,328人</td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>中学校</td> <td>18校</td> </tr> </table>							1 定期健康診断	中学生	4,029人	心臓病検診	1年生	1,328人	2 飲料水水質検査	中学校	18校																					
1 定期健康診断	中学生	4,029人																																				
心臓病検診	1年生	1,328人																																				
2 飲料水水質検査	中学校	18校																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、生徒に対して的確な予防指導を行っていく上で重要である。 今後も学校医、学校、保護者等相互の連携のもと生徒の健全育成のため事業を継続する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	24,726,000		23,768,166		336,000			23,432,166																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																													
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																													
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																													
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	中学校教育用コンピューター関係費																																
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）																																
目的及び事業内容		<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。</p>																																		
取組実績		<p>中学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="2">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H21</td> <td>河北地区3校： 90台</td> <td>河北地区3校： 6台</td> </tr> <tr> <td>桃生地区1校： 42台</td> <td>桃生地区1校： 2台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H22</td> <td>河南地区2校： 90台</td> <td>河南地区2校： 6台</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区1校： 44台</td> <td>牡鹿地区1校： 3台</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>石巻地区6校： 293台</td> <td>石巻地区6校： 24台</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H25</td> <td>石巻地区3校： 118台</td> <td>石巻地区3校： 9台</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区2校： 20台</td> <td>雄勝地区2校： 4台</td> </tr> <tr> <td>北上地区1校： 38台</td> <td>北上地区1校： 2台</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区2校： 47台</td> <td>石巻地区2校： 6台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施 ※ 平成23、27年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>							整備年度	整備内容		教育用コンピューター	電子黒板	H21	河北地区3校： 90台	河北地区3校： 6台	桃生地区1校： 42台	桃生地区1校： 2台	H22	河南地区2校： 90台	河南地区2校： 6台	牡鹿地区1校： 44台	牡鹿地区1校： 3台	H24	石巻地区6校： 293台	石巻地区6校： 24台	H25	石巻地区3校： 118台	石巻地区3校： 9台	雄勝地区2校： 20台	雄勝地区2校： 4台	北上地区1校： 38台	北上地区1校： 2台	H26	石巻地区2校： 47台	石巻地区2校： 6台
整備年度	整備内容																																			
	教育用コンピューター	電子黒板																																		
H21	河北地区3校： 90台	河北地区3校： 6台																																		
	桃生地区1校： 42台	桃生地区1校： 2台																																		
H22	河南地区2校： 90台	河南地区2校： 6台																																		
	牡鹿地区1校： 44台	牡鹿地区1校： 3台																																		
H24	石巻地区6校： 293台	石巻地区6校： 24台																																		
H25	石巻地区3校： 118台	石巻地区3校： 9台																																		
	雄勝地区2校： 20台	雄勝地区2校： 4台																																		
	北上地区1校： 38台	北上地区1校： 2台																																		
H26	石巻地区2校： 47台	石巻地区2校： 6台																																		
成 果		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 																																		
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、今後も継続して整備更新していきたい。 ・デジタル教科書や電子黒板等の最新のICT機器を整備したことに伴い、より多くの教科で利用する機会が増え、生徒にわかりやすい授業が展開できるようになったが、ICT機器の活用には慣れない教員がいるため、校内研修などを実施して教員全員の活用能力向上を図っていく必要がある。 																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	63,759,000		63,746,196					63,746,196																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																				
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																				
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																				
実施計画掲載ページ		P21		中 事 業	中学校教育振興援助費																						
事業コード		002-001-003-00222		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																						
目的及び事業内容		<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費の助成を行うことにより、経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学援助費の助成 特別支援教育就学奨励費の助成 																									
取組実績	1 就学援助費																										
	<p>認定者数 479名 / 全生徒数 4,031名 (11.88%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>10,804,040 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>168,962 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>802,797 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>3,108,600 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>10,044,155 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>21,633,483 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>376,040 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>46,938,077 円</td></tr> </table>								学用品費	10,804,040 円	校外活動費（泊無し）	168,962 円	校外活動費（泊付き）	802,797 円	通学費	0 円	新入学用品費	3,108,600 円	修学旅行費	10,044,155 円	給食費	21,633,483 円	医療費	376,040 円	計	46,938,077 円	
学用品費	10,804,040 円																										
校外活動費（泊無し）	168,962 円																										
校外活動費（泊付き）	802,797 円																										
通学費	0 円																										
新入学用品費	3,108,600 円																										
修学旅行費	10,044,155 円																										
給食費	21,633,483 円																										
医療費	376,040 円																										
計	46,938,077 円																										
取組実績	2 特別支援教育就学奨励費																										
	<p>認定者数 51名 / 全生徒数 4,031名 (1.27%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>342,240 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>6,000 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>26,234 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>626,258 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>141,300 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>217,203 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>728,797 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>419,230 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>5,117,120 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,624,382 円</td></tr> </table>								学用品費	342,240 円	校外活動費（泊無し）	6,000 円	校外活動費（泊付き）	26,234 円	通学費	626,258 円	新入学用品費	141,300 円	修学旅行費	217,203 円	給食費	728,797 円	交流学習交通費	419,230 円	職場実習交通費	5,117,120 円	計
学用品費	342,240 円																										
校外活動費（泊無し）	6,000 円																										
校外活動費（泊付き）	26,234 円																										
通学費	626,258 円																										
新入学用品費	141,300 円																										
修学旅行費	217,203 円																										
給食費	728,797 円																										
交流学習交通費	419,230 円																										
職場実習交通費	5,117,120 円																										
計	7,624,382 円																										
成 果	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、助成を行うことにより、経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保することができた。</p>																										
成果に係る評価	<p>就学援助費の助成又は特別支援教育就学奨励費の助成により、生徒の就学機会に寄与することができた。</p> <p>今後も経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者や特別支援学級へ就学する生徒の保護者への支援を継続することにより、均等な教育機会の提供を図る必要がある。</p>																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	54,574,676	54,562,459	3,962,000			50,600,459																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																											
	3 項	中学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																											
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																											
実施計画掲載ページ		P22		中 事 業	中学校図書整備事業費																																													
事業コード		002-001-003-00239		事 業 名	学校図書整備事業（中学校）																																													
目的及び事業内容		<p>全国的傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																																
取組実績	<p>平成31年度末に市内全ての中学校において、学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入により学校図書の充実に努めた。平成27年度は、前年度とほぼ同様の冊数を整備した。</p> <p><中学校図書の本数></p> <table border="1"> <tr> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>10,475冊</td> <td>7,832冊</td> <td>17,497冊</td> <td>12,477冊</td> <td>12,314冊</td> </tr> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H23	H24	H25	H26	H27	10,475冊	7,832冊	17,497冊	12,477冊	12,314冊																																
	H23	H24	H25	H26	H27																																													
10,475冊	7,832冊	17,497冊	12,477冊	12,314冊																																														
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、生徒が自ら進んで言葉を読み、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。充足率は上昇しているものの、学級数の増加による図書標準の変更のため、前年よりも充足率が減少している学校があった。</p> <p><中学校図書充足率達成状況></p> <table border="1"> <tr> <td>達成率</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>100%以上(A)</td> <td>1校</td> <td>2校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>5校</td> <td>4校</td> <td>5校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>12校</td> <td>12校</td> <td>9校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>21校</td> <td>21校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合(A/B)</td> <td>4.76%</td> <td>9.52%</td> <td>15.00%</td> <td>15.00%</td> <td>10.00%</td> </tr> </table> <p>※いずれも各年度末時点</p>								達成率	H23	H24	H25	H26	H27	100%以上(A)	1校	2校	3校	3校	2校	75%以上-100%未満	5校	4校	5校	7校	11校	50%以上-75%未満	12校	12校	9校	6校	5校	50%未満	3校	3校	3校	4校	2校	合計(B)	21校	21校	20校	20校	20校	100%以上達成校の割合(A/B)	4.76%	9.52%	15.00%	15.00%	10.00%
	達成率	H23	H24	H25	H26	H27																																												
100%以上(A)	1校	2校	3校	3校	2校																																													
75%以上-100%未満	5校	4校	5校	7校	11校																																													
50%以上-75%未満	12校	12校	9校	6校	5校																																													
50%未満	3校	3校	3校	4校	2校																																													
合計(B)	21校	21校	20校	20校	20校																																													
100%以上達成校の割合(A/B)	4.76%	9.52%	15.00%	15.00%	10.00%																																													
成果に係る評価	<p>前年度末に比べると充足率が100%を達成した学校の割合は減少しているが、これは学級数の増加により充足率の目標値が変わったためであり、蔵書数は前年度末に比べると増加している。平成28年度末には渡波中、雄勝中が仮設校舎から本設校舎への移転を予定しており、図書設置スペースが充実されることから、より一層の充実を図っていきたい。</p>																																																	
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	20,300,000	19,966,296			6,614,000	13,352,296																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 節			()	
	3 目	学校建設費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	中学校施設老朽化対策事業費				
事業コード			事 業 名	中学校施設老朽化対策事業				
目的及び事業内容			老朽化が著しく進行している学校施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。 本事業は年次計画に基づき、毎年度、中学校1校について、継続事業として実施予定である。					
取 組 実 績			<p>平成27年度事業 実施校 1校：門脇中学校（平成26年度からの明許繰越）</p> <p>平成28年度予定事業 設計・工事 桃生中学校（工事は、平成28・29年度 2か年継続事業） 設計 稲井中学校（工事は、平成29年度実施予定）</p>					
成 果			<p>実施校 1校：門脇中学校（平成26年度からの明許繰越） 門脇中学校の工事が完了し、施設の延命化及び学習環境の改善が図られた。</p>					
成果に係る評価			平成27年度の本繰越事業は終了し、事業の推進が図られた。 本事業は年次計画に基づき、毎年度、中学校1校について、継続事業として実施予定である。					
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	179,956,000	167,883,140		159,400,000		8,483,140		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																
	3 項	中学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる																																
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																
実施計画掲載ページ		P186	中 事 業	被災生徒通学支援事業費																																				
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	通学支援事業（中学校）																																				
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替え校スクールバス等の運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバスの運行 																																						
取 組 実 績		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス等</td> <td>3 校</td> <td>316 人</td> <td>108,104,421 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>13 校</td> <td>163 人</td> <td>95,799,395 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス</td> <td>1 校</td> <td>46 人</td> <td>21,907,640 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>525 人</td> <td>225,811,456 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <p>代替え校スクールバス等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>河北中学校</td> <td>旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝中学校</td> <td>代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊中学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用生徒在籍校（H27） 石巻中学校、住吉中学校、門脇中学校、湊中学校、蛇田中学校、渡波中学校、稲井中学校、山下中学校、青葉中学校、万石浦中学校、飯野川中学校、雄勝中学校、北上中学校</p>							区 分	学校数	対象人数	金 額	代替え校スクールバス等	3 校	316 人	108,104,421 円	仮設住宅スクールバス等	13 校	163 人	95,799,395 円	通学路安全対策バス	1 校	46 人	21,907,640 円	計	—	525 人	225,811,456 円	学校名	状 況	渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行	河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行	雄勝中学校	代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行	学校名	状 況	湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行
区 分	学校数	対象人数	金 額																																					
代替え校スクールバス等	3 校	316 人	108,104,421 円																																					
仮設住宅スクールバス等	13 校	163 人	95,799,395 円																																					
通学路安全対策バス	1 校	46 人	21,907,640 円																																					
計	—	525 人	225,811,456 円																																					
学校名	状 況																																							
渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行																																							
河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行																																							
雄勝中学校	代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行																																							
学校名	状 況																																							
湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																							
成 果		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																						
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。 今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を継続する必要がある。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	233,847,000	225,811,456	200,960,656			24,850,800																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																		
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																		
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																		
実施計画掲載ページ		P186	中 事 業	被災生徒就学支援事業費																					
事業コード		004-101-001-00481	事 業 名	被災生徒就学支援事業（中学校）																					
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。</p> <p>(支給対象者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																							
取組実績		<p>就学援助費</p> <p>認定者数 1,239名 / 全生徒数 4,031名 (30.74%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>29,226,615 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>522,554 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>2,389,618 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>9,726,150 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>23,584,812 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>59,280,082 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>593,620 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>125,323,451 円</td></tr> </table>						学用品費	29,226,615 円	校外活動費（泊無し）	522,554 円	校外活動費（泊付き）	2,389,618 円	通学費	0 円	新入学用品費	9,726,150 円	修学旅行費	23,584,812 円	給食費	59,280,082 円	医療費	593,620 円	計	125,323,451 円
学用品費	29,226,615 円																								
校外活動費（泊無し）	522,554 円																								
校外活動費（泊付き）	2,389,618 円																								
通学費	0 円																								
新入学用品費	9,726,150 円																								
修学旅行費	23,584,812 円																								
給食費	59,280,082 円																								
医療費	593,620 円																								
計	125,323,451 円																								
成 果		東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、生徒の就学の機会を確保することができた。																							
成果に係る評価		就学援助費の助成により、被災した生徒の就学機会に寄与することができた。今後も東日本大震災により被災し、経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者への支援を継続する必要があるが、被災者の再建状況を踏まえ、受給者の認定基準について検討する必要がある。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	129,909,000	125,323,451	125,323,451																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P188	中 事 業	渡波中学校移転新築事業費			
事業コード		004-101-001-00895	事 業 名	渡波中学校移転新築事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災した渡波中学校の移転新築を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧事業：校舎、屋内運動場、プール、外構等（別事業に掲載） ・復興交付金事業：武道場、渡中プラザ、ランニングコース、太陽光発電設備等 <p>※渡波中学校は校舎、屋内運動場、武道場、プールを1施設に集約する。</p>					
取組実績		<p>平成27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事及び工事監理（武道場） ・用地購入（渡中プラザ） 					
成 果		渡波中学校移転新築工事、電気設備工事及び機械設備工事等に着手し、平成29年度供用開始に向け、事業の進捗が図られた。					
成果に係る評価		用地を取得し、建築工事等について予定通り着工することが出来たことから、平成29年度供用開始に向けて事業を継続して進める必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	68,461,000	48,257,946			36,991,000	11,266,946	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P17	中 事 業	高等学校保健費																																		
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221	事業名	健康診断・検査等実施事業（高等学校） 学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																																			
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、桜坂高等学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持、増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																					
取組実績	<p>1 学校医の配置 高等学校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>2 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>1 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>2 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 高等学校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>1 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>								内 科 医	2 人	耳 鼻 科 医	1 人	眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人	薬 剤 師	1 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	2 人	耳 鼻 科 医	1 人																																			
眼 科 医	1 人	歯 科 医	2 人																																			
薬 剤 師	1 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、高等学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 高校生 589人 心臓病検診 1年生 189人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 1校</p>																																					
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、生徒に対して的確な予防指導を行っていく上で重要である。 今後も学校医、学校、保護者等相互の連携のもと生徒の健全育成のため事業を継続する必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	2,935,000	2,727,337				2,727,337																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																								
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																								
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																								
実施計画掲載ページ		P22	中 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費																											
事業コード	002-001-003-00240	事業名	情報教育環境整備事業（高等学校）																												
目的及び事業内容	<p>国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。</p>																														
取組実績	<p>高等学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="3">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th>タブレット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>市立女子高：58台</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>市立女子高：147台</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>市立女子高：86台</td> <td>市立女子高（桜坂高）：17台</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>—</td> <td>桜坂高：2台</td> <td>桜坂高：123台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20～25年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※ 教育用コンピューターについては、平成27年3月に市立女子高（桜坂高）へ移設。 ※ 電子黒板17台については、高等学校統合整備事業費（備品購入費）で整備。 ※ 平成27年度は、パソコン室以外の機器（タブレット123台、電子黒板2台等）を整備。</p>								整備年度	整備内容			教育用コンピューター	電子黒板	タブレット	H17	市立女子高：58台	—	—	H19	市立女子高：147台	—	—	H26	市立女子高：86台	市立女子高（桜坂高）：17台	—	H27	—	桜坂高：2台	桜坂高：123台
整備年度	整備内容																														
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット																												
H17	市立女子高：58台	—	—																												
H19	市立女子高：147台	—	—																												
H26	市立女子高：86台	市立女子高（桜坂高）：17台	—																												
H27	—	桜坂高：2台	桜坂高：123台																												
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 																														
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の教育用コンピューターについては、学校の教育課程に則した機器を考察・選定し、計画的に整備している。 ・魅力ある高校づくりを目指し、整備した機器の有効活用を図っていきたい。 																														
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	12,390,332	10,503,005				10,503,005																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()													
	4 項	高等学校費		第 節			()													
	3 目	東日本大震災関係費		()			()													
実施計画掲載ページ			中 事 業	高等学校統合整備事業費																
事業コード			事 業 名	市立高等学校統合事業〔復興交付金〕																
目的及び事業内容		<p>【目的】平成24年2月に策定した「石巻市立高等学校統合事業基本計画」に基づき、市立高等学校2校を統合し、女子高等学校を新設する。</p> <p>【事業内容】施設整備工事等</p>																		
取組実績		<p>平成26年度に施設整備工事等を実施し、平成27年度に桜坂高等学校として開校した。</p> <p>【平成27年度事業】外構工事完了にて本事業終了。</p>																		
成果		<p>平成26年度に校舎等の建設工事を実施し、平成27年度に桜坂高等学校として開校することができた。平成27年度に外構工事を実施し、本事業は終了した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>計画策定</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>各種設計</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>仮設校舎設置・整備工事</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>整備工事・仮設校舎解体</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>開校・外構工事</td> </tr> </tbody> </table>							区分	内 容	H23	計画策定	H24	各種設計	H25	仮設校舎設置・整備工事	H26	整備工事・仮設校舎解体	H27	開校・外構工事
区分	内 容																			
H23	計画策定																			
H24	各種設計																			
H25	仮設校舎設置・整備工事																			
H26	整備工事・仮設校舎解体																			
H27	開校・外構工事																			
成果に係る評価		<p>平成26年度に施設整備工事等を実施し、平成27年度に桜坂高等学校として開校した。平成27年度に外構工事を実施し、本事業は終了した。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	137,932,000	135,171,936			106,185,000	28,986,936														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	4 項	高等学校費		第 節			()	
	3 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	高等学校統合事業費				
事業コード			事 業 名	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容		<p>【事業内容】平成24年2月に策定した石巻市立高等学校統合事業基本計画に基づき市立高等学校2校を統合し、平成27年4月に石巻市立桜坂高等学校が開校した。教育の特徴である「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」の三本柱を実践して生徒それぞれの夢を実現させるために必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】県内唯一の公立女子高等学校の特色ある教育活動を取り入れることで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、桜坂高校の魅力を外内に強くPRすることで募集定員を確保する。</p>						
取組実績		<p>1 小笠原流礼法指導 1年生 2回実施 2年生 1回実施 3年生 1回実施</p> <p>2 進路講座 (1) 公務員試験講座 8回実施 (2) 進路指導教員研修 14回実施 (3) 電子黒板・ICT教員研修 1回実施 (4) コミュニケーション講座 1年生 3回実施 (5) マナー・パフォーマンス講座 3年生 1回実施 (6) 伝達方法と手法講座 2年生 1回実施 (7) 伝え方と聞き方講座 1年生 1回実施 (8) ライフプランニング講座 1年生 1回実施 (9) 文章表現の仕方について 1年生 1回実施</p> <p>3 親教育講座 3年生 1回実施 3年生 1回実施</p> <p>4 進路ガイダンス参加 夢メッセで開催された夢ナビライブ2015参加、中型バス2台借上げ</p> <p>5 開校記念講演 全学年 1回実施</p>						
成果		<p>1 小笠原流礼法指導……昨年に引き続き実施し、全生徒が礼法指導の基礎を学ぶことにより、「品格教育」の推進と充実を図ることができた。</p> <p>2 進路講座……「学力保証」、「キャリア教育」の充実を図るため、公務員を志望する生徒のための公務員試験講座や進路指導教員向けの研修会、コミュニケーションやマナーを学ぶ講座等各種講座を実施し、生徒それぞれの進路実現及び進路指導教員のレベルアップに向けた一助となった。</p> <p>3 親教育講座……3年生に対して親教育講座を実施することで、出産や育児、子育ての楽しさや難しさ、活用することができる子育て支援策等を学ぶ充実した機会となった。</p> <p>4 進路ガイダンス参加……県内外の大学や専門学校等がガイダンスする夢ナビライブ2015に参加し、生徒それぞれが直接触れたり見聞きすることで、進路目標を考えたり選択するための良い機会となった。</p> <p>5 開校記念講演……開校記念講演を実施し、石巻専修大学准教授の輪田直子氏による「異とともに生きる」と題した講演は、全生徒に女性としての生き方や他者とのかかわりを通じた人生観等を考えさせる契機となった。</p>						
成果に係る評価		<p>本事業は、平成27年4月開校した「石巻市立桜坂高等学校」の教育活動等の検討と生徒の夢を実現させるための取り組みにおいては一定の成果があった。しかしながら、平成28年度の入学選抜においても定員割れの状況であったことを鑑み、来年度も引き続き本事業を活用した桜坂高等学校の「教育の三本柱（品格教育、キャリア教育、学力保証）」のより一層の推進・充実に努め、課題である定員割れの解消を図る必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,965,000	1,168,065			1,168,065			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	幼稚園保健費																																		
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園） 学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																																			
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持、増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																					
取組実績	<p>1 幼稚園医の配置 市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した幼稚園医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>5 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>4 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> </table> <p>2 幼稚園薬剤師の配置 市立幼稚園及び湊こども園に薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した幼稚園薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> <td>寄生虫卵検査</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 市立幼稚園及び湊こども園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>								内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人	眼 科 医	4 人	歯 科 医	4 人	薬 剤 師	5 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全幼児	結核検診	全幼児	眼科健診	全幼児	尿検査	全幼児	耳鼻科健診	全幼児	寄生虫卵検査	全幼児	歯科健診	全幼児		
	内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人																																		
眼 科 医	4 人	歯 科 医	4 人																																			
薬 剤 師	5 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全幼児	結核検診	全幼児																																			
眼科健診	全幼児	尿検査	全幼児																																			
耳鼻科健診	全幼児	寄生虫卵検査	全幼児																																			
歯科健診	全幼児																																					
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、保護者、市立幼稚園及び湊こども園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。 また、施設内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 園児 240人</p> <p>2 飲料水水質検査 幼稚園(4)、こども園(1) 計5園</p>																																					
成果に係る評価	<p>市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検等を実施することは、幼児に対して的確な予防指導を行っていく上で重要である。 今後も幼稚園医、市立幼稚園及び湊こども園、保護者等相互の連携のもと幼児の健全育成のため事業を継続する必要がある。</p>																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	3,298,000	3,000,272				3,000,272																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																									
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																									
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																									
実施計画掲載ページ		P 18	中 事 業	私立幼稚園就園奨励費																												
事業コード	002-001-002-00223	事 業 名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																													
目的及び事業内容	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者及び多子世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園就園奨励費の助成 																															
取組実績	<p>市内に居住している園児の入園料、保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活保護世帯</td> <td>2人</td> <td>253,150円</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯</td> <td>74人</td> <td>14,817,250円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯</td> <td>86人</td> <td>17,604,000円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯</td> <td>224人</td> <td>24,071,000円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 211,200円以下の世帯</td> <td>448人</td> <td>33,694,700円</td> </tr> <tr> <td>上記以外の世帯</td> <td>70人</td> <td>7,833,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>904人</td> <td>98,273,100円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	対象人数	補助金額	生活保護世帯	2人	253,150円	市民税非課税世帯	74人	14,817,250円	市民税所得割額非課税世帯	86人	17,604,000円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯	224人	24,071,000円	市民税所得割額 211,200円以下の世帯	448人	33,694,700円	上記以外の世帯	70人	7,833,000円	合計	904人	98,273,100円
	区分	対象人数	補助金額																													
生活保護世帯	2人	253,150円																														
市民税非課税世帯	74人	14,817,250円																														
市民税所得割額非課税世帯	86人	17,604,000円																														
市民税所得割額 77,100円以下の世帯	224人	24,071,000円																														
市民税所得割額 211,200円以下の世帯	448人	33,694,700円																														
上記以外の世帯	70人	7,833,000円																														
合計	904人	98,273,100円																														
成 果	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者及び多子世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成することにより、就園する保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。</p> <p>(補助内訳)</p> <p>就園奨励費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>776人</td> <td>82,860,900円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>886人</td> <td>94,199,700円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>904人</td> <td>98,273,100円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	対象人数	補助金額	H25	776人	82,860,900円	H26	886人	94,199,700円	H27	904人	98,273,100円												
区分	対象人数	補助金額																														
H25	776人	82,860,900円																														
H26	886人	94,199,700円																														
H27	904人	98,273,100円																														
成果に係る評価	<p>私立幼稚園就園奨励費助成事業は、本市の幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減することを目的とした事業であり、今後も事業を継続する必要がある。</p>																															
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	98,316,000	98,273,100	47,240,500			51,032,600																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																							
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																							
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																							
実施計画掲載ページ	P 18		中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																										
事業コード	002-001-002-00224		事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																										
目的及び事業内容	<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成 幼稚園割 1園 160,000円 職員割 1人 30,000円 園児割 1人 1,200円</p>																													
取組実績	<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>950,800円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>644,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>805,600円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ幼稚園</td> <td>856,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ第二幼稚園</td> <td>336,400円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,172,800円</td> </tr> <tr> <td>栄光幼稚園</td> <td>473,200円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>259,600円</td> </tr> <tr> <td>万石浦幼稚園</td> <td>577,600円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,076,800円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	運営費補助金	穀町幼稚園	950,800円	法山寺幼稚園	644,800円	石巻カトリック幼稚園	805,600円	石巻みずほ幼稚園	856,000円	石巻みずほ第二幼稚園	336,400円	ひばり幼稚園	1,172,800円	栄光幼稚園	473,200円	長浜幼稚園	259,600円	万石浦幼稚園	577,600円	合 計	6,076,800円
区分	運営費補助金																													
穀町幼稚園	950,800円																													
法山寺幼稚園	644,800円																													
石巻カトリック幼稚園	805,600円																													
石巻みずほ幼稚園	856,000円																													
石巻みずほ第二幼稚園	336,400円																													
ひばり幼稚園	1,172,800円																													
栄光幼稚園	473,200円																													
長浜幼稚園	259,600円																													
万石浦幼稚園	577,600円																													
合 計	6,076,800円																													
成 果	<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳) 運営費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>6,228,000円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6,279,600円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6,076,800円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	運営費補助金	H25	6,228,000円	H26	6,279,600円	H27	6,076,800円														
区分	運営費補助金																													
H25	6,228,000円																													
H26	6,279,600円																													
H27	6,076,800円																													
成果に係る評価	<p>私立幼稚園運営費助成事業は、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減を図ることを目的とした事業であり、本市の幼児教育の推進を図るため、今後も継続する必要がある。</p>																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	6,394,000	6,076,800				6,076,800																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	5 項	幼稚園費		第 節			()	
	2 目	幼稚園建設費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	幼稚園施設老朽化対策事業費				
事業コード			事 業 名	幼稚園施設老朽化対策事業				
目的及び事業内容	<p>老朽化が著しく進行している幼稚園施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、園児が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p> <p>本事業は年次計画に基づき、毎年度、幼稚園1園について、継続事業として実施し、平成29年度の稲井幼稚園の工事完了をもって、本事業は終了する予定である。</p>							
取組実績	<p>平成27年度事業 実施校 1園：桃生幼稚園（平成27年度に工事完了）</p> <p>本事業は年次計画に基づき、毎年度、幼稚園1園について、継続事業として実施し、平成29年度の稲井幼稚園の工事完了によって、本事業は終了する予定である。</p> <p>平成28年度予定事業 設計・工事 住吉幼稚園 設計 稲井幼稚園</p>							
成 果	<p>桃生幼稚園：平成27年度に工事が完了し、施設の延命化及び学習環境の改善が図られた。</p>							
成果に係る評価	<p>桃生幼稚園の老朽化対策工事を発注し、平成27年度に工事完了し、本事業の推進が図られた。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	110,000,000	77,847,480		73,900,000		3,947,480		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる																				
	1 目	社会教育総務費				(3)	子どものケアの実施																				
実施計画掲載ページ		P195	中 事 業	社会教育事務費																							
事業コード		004-103-002-00527	事 業 名	家庭教育支援事業																							
目的及び事業内容																											
<p>子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人たちによる「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。</p>																											
取 組 実 績	1 仮設団地集会所における親子参加型の活動（子育てサロン）																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>H25.4～H26.3</td> <td>23回</td> <td>延べ279組</td> <td>延べ604人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>H26.4～H27.3</td> <td>22回</td> <td>延べ317組</td> <td>延べ734人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H27.4～H28.3</td> <td>22回</td> <td>延べ310組</td> <td>延べ691人</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	実施期間	実施回数	参加人数		H25	H25.4～H26.3	23回	延べ279組	延べ604人	H26	H26.4～H27.3	22回	延べ317組	延べ734人	H27	H27.4～H28.3	22回	延べ310組	延べ691人
	年 度	実施期間	実施回数	参加人数																							
H25	H25.4～H26.3	23回	延べ279組	延べ604人																							
H26	H26.4～H27.3	22回	延べ317組	延べ734人																							
H27	H27.4～H28.3	22回	延べ310組	延べ691人																							
2 親の学び講座（母親対象）ノーバディーズ・パーフェクトプログラム研修他																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>7回</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>38回</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>40回</td> <td>296人</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	実施回数	参加人数	H25	7回	92人	H26	38回	252人	H27	40回	296人									
年 度	実施回数	参加人数																									
H25	7回	92人																									
H26	38回	252人																									
H27	40回	296人																									
3 「親のみちしるべ」講座 参加者数 63人 ファシリテーター 延べ15人(石巻市家庭教育支援チーム担当)																											
4 子育てサポーター養成講座 受講者 21名(家庭教育支援チーム4名)																											
成 果	<p>「子育てサロン」及び「親の学び講座」は参加者が多く、石巻市の家庭教育支援事業として市民に定着してきたのではないかと捉えている。「子育てサロン」は親子ともに楽しむことができるだけでなく、支援チームスタッフによる子育て相談も好評であり、多くの参加者に親しまれる要因となっている。「親の学び講座」は毎回定員を超える参加希望があり、需要が多いと考えられる。実施後のアンケートにおいても90%以上の受講生が「たいへん良いプログラムなので、友達にも紹介したい」と回答している。また、受講修了後、「支援される側」から「支援する側」としての活動を希望し、新たなサークルを立ち上げたり、家庭教育支援チームの一員として家庭教育支援にあたる母親が年々増加している。</p> <p>「親のみちしるべ講座」は平成27年度より宮城東部教育事務所からの協力依頼を受けて開催しており、特に小学校の「一日入学」において、新入生の母親同士のコミュニケーション形成に役立ったと考えられる。</p> <p>「子育てサポーター養成講座」は県教育委員会・東部教育事務所・石巻市教育委員会が共催で開催しており、地元開催の成果で年々受講者が増加している。毎回、子育て支援の専門家の講話を聞くことができ、受講生のほとんどが大変勉強になると感想を述べている。</p>																										
	<p>「子育てサロン」及び「親の学び講座」は参加者が多く、石巻市の家庭教育支援事業として市民に定着してきたのではないかと捉えている。「子育てサロン」は親子ともに楽しむことができるだけでなく、支援チームスタッフによる子育て相談も好評であり、多くの参加者に親しまれる要因となっている。「親の学び講座」は毎回定員を超える参加希望があり、需要が多いと考えられる。実施後のアンケートにおいても90%以上の受講生が「たいへん良いプログラムなので、友達にも紹介したい」と回答している。また、受講修了後、「支援される側」から「支援する側」としての活動を希望し、新たなサークルを立ち上げたり、家庭教育支援チームの一員として家庭教育支援にあたる母親が年々増加している。</p>																										
成果に係る評価	<p>市民に広く浸透しつつある家庭教育支援事業は、子育ての孤立化の解消や親子の心のケアという当初の目標に迫るだけでなく、次代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材育成という点でも成果が見られることから、市民にとって意義の大きい事業であり、需要もまだまだ見込めるため今後も継続が必要である。</p>																										
(単位：円)																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	263,000	117,434	117,434																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																						
	6 項	社会教育費				()	地域全体で子どもたちを育成する																																																						
	1 目	社会教育総務費				()	青少年を健全に育成する																																																						
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	少年指導者育成費																																																									
事業コード		002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業																																																									
目的及び事業内容																																																													
<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。 宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。 市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行う。</p>																																																													
取 組 実 績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援																																																												
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会 I</td> <td>7月28日(火)～30日(木)</td> <td>花山少年自然の家</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>							No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会 I	7月28日(火)～30日(木)	花山少年自然の家	25人																																												
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																									
1	初級研修会 I	7月28日(火)～30日(木)	花山少年自然の家	25人																																																									
(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会</td> <td>8月18日(火)～19日(水)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>							No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月18日(火)～19日(水)	志津川自然の家	4人																																													
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																									
1	中級研修会	8月18日(火)～19日(水)	志津川自然の家	4人																																																									
(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>春季技術研修会</td> <td>5月16日(土)～17日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ボイストレーニング</td> <td>7月4日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ジュニア・リーダー技術研修会1</td> <td>7月5日(日)</td> <td>宮城青年会館</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>JL初級研修会事前説明</td> <td>7月11日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>中級研修会事前打ち合わせ1</td> <td>7月25日(土)</td> <td>桃生公民館</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>初級研修会 I</td> <td>7月28日(火)～30日(木)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>中級研修会事前打ち合わせ2</td> <td>8月8日(土)</td> <td>桃生公民館</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>中級研修会</td> <td>8月18日(火)～19日(水)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>みやぎJL交流会</td> <td>9月13日(日)</td> <td>東仙台小学校</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ジュニア・リーダー上級研修会</td> <td>12月25日(金)～27日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>							No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	春季技術研修会	5月16日(土)～17日(日)	花山青少年自然の家	5人	2	ボイストレーニング	7月4日(土)	石巻中央公民館	5人	3	ジュニア・リーダー技術研修会1	7月5日(日)	宮城青年会館	1人	4	JL初級研修会事前説明	7月11日(土)	石巻中央公民館	28人	5	中級研修会事前打ち合わせ1	7月25日(土)	桃生公民館	9人	6	初級研修会 I	7月28日(火)～30日(木)	花山青少年自然の家	28人	7	中級研修会事前打ち合わせ2	8月8日(土)	桃生公民館	9人	8	中級研修会	8月18日(火)～19日(水)	志津川自然の家	9人	9	みやぎJL交流会	9月13日(日)	東仙台小学校	1人	10	ジュニア・リーダー上級研修会	12月25日(金)～27日(日)	花山青少年自然の家	2人
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																																																									
1	春季技術研修会	5月16日(土)～17日(日)	花山青少年自然の家	5人																																																									
2	ボイストレーニング	7月4日(土)	石巻中央公民館	5人																																																									
3	ジュニア・リーダー技術研修会1	7月5日(日)	宮城青年会館	1人																																																									
4	JL初級研修会事前説明	7月11日(土)	石巻中央公民館	28人																																																									
5	中級研修会事前打ち合わせ1	7月25日(土)	桃生公民館	9人																																																									
6	初級研修会 I	7月28日(火)～30日(木)	花山青少年自然の家	28人																																																									
7	中級研修会事前打ち合わせ2	8月8日(土)	桃生公民館	9人																																																									
8	中級研修会	8月18日(火)～19日(水)	志津川自然の家	9人																																																									
9	みやぎJL交流会	9月13日(日)	東仙台小学校	1人																																																									
10	ジュニア・リーダー上級研修会	12月25日(金)～27日(日)	花山青少年自然の家	2人																																																									
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援 市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。 団体による申請数：68回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：249人 会員数：54人																																																													
成 果	<p>ジュニア・リーダーサークル間の交流活動を増やすことにより、相互に学び合う機会が増え、ジュニア・リーダーたちの活動意欲も高まってきている。また、ジュニア・リーダーの中心的活動である子ども会からの派遣要請は震災前より減少したが、NPO法人等、復興支援に取り組む団体の活動や市の家庭教育支援事業に参加することにより、活動の機会を得ることができ、ジュニア・リーダーとしての力量を高めることができた。</p>																																																												
成果に係る評価	<p>子ども会からの派遣要請や復興支援に取り組む団体の活動への参加依頼が、一部のジュニア・リーダーサークルに偏っていたが、ジュニア・リーダーサークル間のネットワークを活用して、他のジュニア・リーダーサークルへも呼びかけ、活動の機会を共有することで、全サークルが協力して取り組む活動が増加してきている。 このように、活動の仕方を工夫し、活動の機会を創出することが、ジュニア・リーダーの資質の向上につながっている。</p>																																																												
(単位：円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	803,000	477,032					477,032																																																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 88	中 事 業		芸術文化振興費			
事業コード		005-003-001-00272	事 業 名		青少年文化芸術鑑賞事業			
目的及び事業内容		芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。						
取 組 実 績	1 巡回小劇場							
	開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数		
	10月8日	桃生公民館	姜建華「シルクロードアンサンブル(民族楽器)」			桃生小・中津山一小・中津山二小(児童201名)		
	10月9日	向陽小学校	姜建華「シルクロードアンサンブル(民族楽器)」			向陽小学校(児童463名)		
	10月9日	門脇中学校	姜建華「シルクロードアンサンブル(民族楽器)」			門脇中学校(生徒280名)		
	2 青少年劇場小公演							
	開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数		
	10月13日	北村小学校	鵜木絵里「ソプラノコンサート」			北村小学校(児童103名)		
	10月13日	大須中学校	鵜木絵里「ソプラノコンサート」			大須中学校(生徒58名)		
	10月14日	荻浜中学校	鵜木絵里「ソプラノコンサート」			荻浜中学校(生徒23名)		
	10月14日	東浜小学校	鵜木絵里「ソプラノコンサート」			東浜小学校(児童23名)		
	3 文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)							
	開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数		
	10月13日	牡鹿中学校	かわせみ座			牡鹿中学校(生徒45名)		
	11月9日	大谷地小学校	仙台フィルハーモニー管弦楽団			大谷地小学校(児童146名)		
12月15日	荻浜中学校	伝統芸能 日本講談協会			荻浜中学校(生徒13名)			
4 文化芸術による子供の育成事業(芸術家派遣事業)								
開催日	場所	公演内容			鑑賞学校・鑑賞人数			
7月10日 9月11日 11月20日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」			須江小学校(児童47名)			
成 果		普段なかなか目にするのでできない、一流の文化・芸術に触れることで、児童・生徒は、楽しみながら、その面白さを知り、感性を磨いたり、教養を深めたりする、よい機会を提供することができた。また、児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、情操を養い豊かな人間形成に寄与することができた。						
成果に係る評価		巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子どもの育成事業については、関係団体と連携を図りながら、質の高い文化・芸術を児童・生徒に提供することができた。また、学校側と連絡を取り合い、会場準備や講師の受け入れ等の体制を十分に整えた上で実施することができた。						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,545,000	1,382,400			1,000,000	382,400		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 87	中 事 業		芸術文化振興費			
事業コード		005-003-001-00271	事 業 名		市美術展実施事業			
目的及び事業内容		美術をとおして、石巻市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から公募する美術展を開催する。						
取 組 実 績	1 石巻市美術展再開に向けて 平成25年度に、震災により流失した市美術展開催用具類を新調、石巻市美術展プレ・リオープン展を開催。平成26年度から公募展を再開している。							
	2 第31回石巻市美術展の開催 平成25年度の石巻市美術展プレ・リオープン展、平成26年度の第30回石巻市美術展(復活記念展)に続き、第31回石巻市美術展を開催した。 ・開催期間 平成27年10月4日～12日 ・開催場所 河北総合センタービッグバン ・出品点数 246点(一般127 高校生53 無鑑査28 招待3 実行委員32 審査員3) ・観覧者数 1,150人 ・受賞者 48名 ・授賞式 平成27年10月4日							
成 果		石巻市美術展を開催することにより、市民への芸術鑑賞機会を提供でき、観覧・出品を含め、芸術文化の向上と文化振興に寄与することができた。また、市美術展の再開により、出品点数・観覧者数ともに、ほぼ震災前の水準に達することができた。						
成果に係る評価		平成17年の合併を機にこれまでの実行委員会主催を改め、石巻市・石巻市教育委員会・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団(旧文化スポーツ振興公社)の主催とし、実行委員会を主管とする体制で実施していた。しかし、文化センターの被災により実施場所を変更し、当面は河北総合センタービッグバンを会場に平成26年度から公募展を再開している。 出品点数・観覧者数ともに震災前の水準にあるものの、平成27年度は一般の出品数が伸び悩み、さらなる出品者数増を実行委員会で検討している。						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	360,000	360,000				360,000		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																					
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード		002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容		<p>(目的) 保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>(事業内容) 実施機関(幼稚園、保育所・学校単位)ごとに開催 中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																										
取組実績		<p>家庭における教育力の向上を図るため、共通の目的を持つ保護者が集まり、仲間づくりをしながら、相互に理解と信頼を深め、家庭や親が果たす役割等の再認識を図ることができるよう家庭教育学級を開設した。</p> <p>1 開設機関 各地区(石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿)の公民館等</p> <p>2 実施機関 各地区の幼稚園(私立も含む)、保育所、小学校、中学校</p> <p>3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>開設学級数</th> <th>開設回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>34 学級</td> <td>65 回</td> <td>4,856 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>9 学級</td> <td>21 回</td> <td>1,390 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>4 学級</td> <td>7 回</td> <td>220 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>16 学級</td> <td>28 回</td> <td>2,000 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6 学級</td> <td>13 回</td> <td>1,202 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>5 学級</td> <td>12 回</td> <td>457 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>4 学級</td> <td>7 回</td> <td>222 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78 学級</td> <td>153 回</td> <td>10,347 人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	開設学級数	開設回数	参加者	石巻地区	34 学級	65 回	4,856 人	河北地区	9 学級	21 回	1,390 人	雄勝地区	4 学級	7 回	220 人	河南地区	16 学級	28 回	2,000 人	桃生地区	6 学級	13 回	1,202 人	北上地区	5 学級	12 回	457 人	牡鹿地区	4 学級	7 回	222 人	計	78 学級	153 回	10,347 人
区 分	開設学級数	開設回数	参加者																																									
石巻地区	34 学級	65 回	4,856 人																																									
河北地区	9 学級	21 回	1,390 人																																									
雄勝地区	4 学級	7 回	220 人																																									
河南地区	16 学級	28 回	2,000 人																																									
桃生地区	6 学級	13 回	1,202 人																																									
北上地区	5 学級	12 回	457 人																																									
牡鹿地区	4 学級	7 回	222 人																																									
計	78 学級	153 回	10,347 人																																									
成 果		<p>人間形成の基本を培う場である家庭が、核家族化、少子化、地域連帯の希薄化など社会の変化に伴い、子育てに関して不安や悩みを抱える親が増えている状況にあり、継続的に家庭教育に関する学習機会を提供することで、望ましい家庭環境の構築が図られた。</p> <p>また、実施機関については、渡波、水押、相川、大川、大谷地保育所が新たに開設された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標(開設回数)</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>150回</td> <td>156回</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>160回</td> <td>151回</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>160回</td> <td>153回</td> <td>95.6%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標(開設回数)		達成率等	目標値	実績等	H25	150回	156回	100.0%	H26	160回	151回	94.4%	H27	160回	153回	95.6%																		
区分	成果指標(開設回数)		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H25	150回	156回	100.0%																																									
H26	160回	151回	94.4%																																									
H27	160回	153回	95.6%																																									
成果に係る評価		<p>子どもの健やかな成長を図るためには、地域・学校・家庭が、それぞれの教育機能を発揮し、相互補完することが大切である。今後も、家庭教育学級の開設により、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の重要性を理解するよう、学習機会の提供や情報提供等の一層の充実を図っていく。</p>																																										
(単位:円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	750,000		683,720		683,720																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																						
	6 項	社会教育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																						
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																						
実施計画掲載ページ		P 21	中 事 業	子ども読書活動推進費																									
事業コード		002-001-002-00259	事 業 名	ブックスタート事業																									
目的及び事業内容		<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法について保護者へ啓発を行う。</p>																											
取組実績		<p>健康推進課で行っている3~4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアの読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>3~4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>1,066人</td> </tr> <tr> <td>”</td> <td>受診者数</td> <td>1,030人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付者数</td> <td></td> <td>1,030人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率(対対象者)</td> <td></td> <td>96.6%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率(対受診者)</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>207人</td> </tr> </tbody> </table>							3~4か月児健診	対象者数	1,066人	”	受診者数	1,030人	ブックスタートパック配付者数		1,030人	ブックスタートパック配付率(対対象者)		96.6%	ブックスタートパック配付率(対受診者)		100.0%	読み聞かせボランティア会員数		18人	読み聞かせボランティア延べ参加者数		207人
3~4か月児健診	対象者数	1,066人																											
”	受診者数	1,030人																											
ブックスタートパック配付者数		1,030人																											
ブックスタートパック配付率(対対象者)		96.6%																											
ブックスタートパック配付率(対受診者)		100.0%																											
読み聞かせボランティア会員数		18人																											
読み聞かせボランティア延べ参加者数		207人																											
成 果		<p>ボランティアのネットワークが広がり、円滑に事業を推進することができている。保護者の方も、事業内容を理解し、快く参加している。乳児に絵本を見せ読み聞かせると、絵本を目で追い反応を示し、絵本との出会いに、保護者は一様に驚きの表情を浮かべ目を輝かせている。絵本との出会いが、乳幼児期から発達段階に応じて習慣的に読み聞かせを行い、本や物語の楽しさや喜びを共有し読書活動を推進した。</p>																											
成果に係る評価		<p>ブックスタート事業も7年目に入り、市民の皆様には定着してきている。また、ボランティアの方々のネットワークも広がり、円滑に事業が展開している。今後は、ブックスタートパックを手渡す際に絵本の読み聞かせを行うボランティアの確保とスキルアップを図っていく。</p>																											
(単位:円)																													
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																								
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	2,236,000		2,107,380		135,300		1,500,000	472,080																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																													
	6 項	社会教育費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																																													
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																																													
実施計画掲載ページ	P25		中 事 業	協働教育推進事業費																																																																
事業コード	002-002-001-00260	事 業 名	コロボススクール推進委託事業																																																																	
目的及び事業内容	<p>学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育むことを目的とする。</p> <p>モデル学校区を選定し、地域社会と学校の協働を支える組織の構築及び協働による教育実践を通して協働教育の在り方を模索する。また、モデル学校区における実践の成果と課題を広く市内の小学校等に情報提供することで、市内における協働教育推進気運の醸成と協働教育の充実・改善につなげるものとする。</p>																																																																			
取組実績	<p>1 協働教育支援会議開催（全2回） 6月30日 21人出席 2月 3日 21人出席</p> <p>2 コロボススクール推進事業（市内4学校区推進協議会へ委託） (1) 住吉小学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>回 数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>13回</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>1回</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>2回</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>4回</td> <td>115人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 蛇田小学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>回 数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>8回</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>1回</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>2回</td> <td>120人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貞山小学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>回 数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>13回</td> <td>331人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>3回</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>5回</td> <td>359人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>2回</td> <td>70人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 万石浦小学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>回 数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>5回</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>1回</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>2回</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>1回</td> <td>120人</td> </tr> </tbody> </table>								活 動 内 容	回 数	参加延人数	①授業の補助	13回	149人	②環境整備	1回	30人	③登下校・安全指導	2回	14人	④学校行事	4回	115人	活 動 内 容	回 数	参加延人数	①授業の補助	8回	149人	②環境整備	0回	0人	③登下校・安全指導	1回	2人	④学校行事	2回	120人	活 動 内 容	回 数	参加延人数	①授業の補助	13回	331人	②環境整備	3回	72人	③登下校・安全指導	5回	359人	④学校行事	2回	70人	活 動 内 容	回 数	参加延人数	①授業の補助	5回	27人	②環境整備	1回	82人	③登下校・安全指導	2回	25人	④学校行事	1回	120人
	活 動 内 容	回 数	参加延人数																																																																	
	①授業の補助	13回	149人																																																																	
	②環境整備	1回	30人																																																																	
	③登下校・安全指導	2回	14人																																																																	
	④学校行事	4回	115人																																																																	
	活 動 内 容	回 数	参加延人数																																																																	
	①授業の補助	8回	149人																																																																	
	②環境整備	0回	0人																																																																	
	③登下校・安全指導	1回	2人																																																																	
④学校行事	2回	120人																																																																		
活 動 内 容	回 数	参加延人数																																																																		
①授業の補助	13回	331人																																																																		
②環境整備	3回	72人																																																																		
③登下校・安全指導	5回	359人																																																																		
④学校行事	2回	70人																																																																		
活 動 内 容	回 数	参加延人数																																																																		
①授業の補助	5回	27人																																																																		
②環境整備	1回	82人																																																																		
③登下校・安全指導	2回	25人																																																																		
④学校行事	1回	120人																																																																		
成 果	<p>協働教育を保護者や地域の方々、NPO団体等の協力を得ながら進めたことで、連携が深まり、児童にとってより有意義な活動を実施することができた。また、協働教育への協力を呼びかける中で、新たな人材との出会いが生まれ、活動の充実につながった。</p>																																																																			
成果に係る評価	<p>各学校でこれまで取り組んできた活動を、協働の視点から見直し、保護者や地域の方々の知識や技能を生かせる活動となるよう工夫したことで、学校では地域や家庭から、これまで以上に協力を得ることができるようになった。また、児童は、地域やNPO団体の方々等、教員以外の大人から教えられたり、一緒に活動したりすることにより、新鮮な気持ちで活動に取り組むことができた。さらに、キャリア教育の面から、様々な職業の方々と接することで、将来の職業選択の見通しをもたせるという点でも効果があった。</p>																																																																			
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																														
	500,000	400,000	400,000																																																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()		
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()		
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()		
実施計画掲載ページ	P30		中 事 業	協働教育推進事業費					
事業コード	002-003-002-00262	事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業						
目的及び事業内容	<p>地域の資源を活用し、子ども達に郷土の自然、文化を体験的に学ばせることにより、豊かな心を育む教育活動を推進する。</p>								
取組実績	<p>ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>第1回 開校式 羽黒下遺跡見学・社鹿交流センターほっとまる体験 参加者 小学校5・6年生14人（石巻地区11人、桃生地区2人、河北地区1人）</p> <p>第2回 神割崎探訪・釣石神社見学 参加者 小学校5・6年生13人（石巻地区11人、桃生地区1人、河北地区1人）</p> <p>第3回 北上川川遊び体験 参加者 小学校5・6年生14人（石巻地区11人、桃生地区2人、河北地区1人）</p> <p>第4回 アウトドア体験（サバ飯&ロープワーク等） 参加者 小学校5・6年生11人（石巻地区10人、河北地区1人）</p> <p>第5回 硯石でクラフト体験・押し花しおり作り体験 参加者 小学校5・6年生14人（石巻地区11人、桃生地区2人、河北地区1人）</p> <p>第6回 石巻魚市場見学・魚料理体験 参加者 小学校5・6年生 9人（石巻地区6人、桃生地区2人、河北地区1人）</p> <p>第7回 ウォークラリー体験 参加者 小学校5・6年生15人（石巻地区12人、桃生地区2人、河北地区1人）</p> <p>第8回 石巻専修大学出前講座 参加者 小学校5・6年生12人（石巻地区10人、桃生地区1人、河北地区1人）</p> <p style="text-align: right;">延べ参加者数 102人</p>								
	成 果	<p>石巻各地域にある豊かな自然、産業、歴史等を子ども達が自ら見聞きし、体験する事により郷土に対する理解や新たな発見をする機会となった。</p>							
	成果に係る評価	<p>市内各地区の子ども達が共通の活動と一緒にいる事により、各学校・学年の枠を超えて新たな仲間づくりのきっかけになった。</p> <p>また、各地域で活動を行っている企業や人材、気づかずに見過ごしている文化や史跡、自然にふれ、ふるさとの良さをあじあわせる事ができた。</p>							
	(単位：円)								
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
		119,000	88,635	88,635					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																														
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																														
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																														
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	まちなか実験室事業費																																																	
事業コード		002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業																																																	
目的及び事業内容 小学生を対象に科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の参加型学習講座を実施し、学ぶ楽しさ、知る喜びを実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子どもたちを育成することを目的とする。																																																					
取組実績 講師、指導者となる団体又は企業への委託事業とし、本庁・総合支所単位でそれぞれ実験室を開催した。 1 まちなか実験室実施内容																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>12月9日</td> <td>音と振動～トーキングテープで遊ぼう</td> <td>87人</td> <td>89.7%</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>12月12日</td> <td>おもりのはたらき</td> <td>23人</td> <td>95.5%</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>12月8日・9日</td> <td>熱気球作成と実験、水ロケット打ち上げほか</td> <td>16人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>11月3日</td> <td>カヌーに乗って自然観察</td> <td>19人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>11月28日</td> <td>たのしい原子・分子の世界</td> <td>19人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>12月15日 1月12日・26日</td> <td>ファラデーの電磁誘導実験ほか</td> <td>59人</td> <td>93.2%</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>11月4日</td> <td>シャボン玉遊び、熱気球作成と実験ほか</td> <td>11人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>234人</td> <td>96.9%</td> </tr> </tbody> </table>									開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度	石巻地区	12月9日	音と振動～トーキングテープで遊ぼう	87人	89.7%	河北地区	12月12日	おもりのはたらき	23人	95.5%	雄勝地区	12月8日・9日	熱気球作成と実験、水ロケット打ち上げほか	16人	100.0%	河南地区	11月3日	カヌーに乗って自然観察	19人	100.0%	桃生地区	11月28日	たのしい原子・分子の世界	19人	100.0%	北上地区	12月15日 1月12日・26日	ファラデーの電磁誘導実験ほか	59人	93.2%	牡鹿地区	11月4日	シャボン玉遊び、熱気球作成と実験ほか	11人	100.0%	合計			234人	96.9%
開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度																																																	
石巻地区	12月9日	音と振動～トーキングテープで遊ぼう	87人	89.7%																																																	
河北地区	12月12日	おもりのはたらき	23人	95.5%																																																	
雄勝地区	12月8日・9日	熱気球作成と実験、水ロケット打ち上げほか	16人	100.0%																																																	
河南地区	11月3日	カヌーに乗って自然観察	19人	100.0%																																																	
桃生地区	11月28日	たのしい原子・分子の世界	19人	100.0%																																																	
北上地区	12月15日 1月12日・26日	ファラデーの電磁誘導実験ほか	59人	93.2%																																																	
牡鹿地区	11月4日	シャボン玉遊び、熱気球作成と実験ほか	11人	100.0%																																																	
合計			234人	96.9%																																																	
成 果 身近な出来事を科学の視点で捉えることにより、新たな発見や好奇心が芽生えるとともに、五感を働かせる様々な「体験」を通じて、子どもたちの興味・関心を広げ、主体的に考える力や表現力、社会性を育むことができた。																																																					
成果に係る評価 受講後のアンケート調査結果から、参加した多くの子どもたちはとても満足したと答えており、科学の実験、ものづくり、自然観察など、学習に対する興味関心を高めることができた。また、屋外で行うカヌー体験では、身近にある川に触れ、体験を通して地域の自然について関心を持つとともに、自然の大切さや怖さを知ってもらうことができた。																																																					
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
		600,000	542,421				542,421																																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																	
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																	
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費																																				
事業コード		002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業																																				
目的及び事業内容 市内小学校区において、公共施設を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。																																								
取組実績 1 放課後子ども教室推進事業「和小っ子クラブ」(和瀨小学校区へ委託) ・登録児童数 32名 ・登録ボランティア数 23名 2 放課後子ども教室開設に向けての取組																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>場 所</th> <th>参加ボランティア人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①石巻市放課後子ども教室推進事業保護者説明会</td> <td>和瀨小学校</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>②和小っ子クラブ運営会議①</td> <td>和瀨コミュニティセンター</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>③和小っ子クラブ運営会議②</td> <td>和瀨コミュニティセンター</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>④和小っ子クラブ運営会議③</td> <td>和瀨コミュニティセンター</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table>									活 動 内 容	場 所	参加ボランティア人数	①石巻市放課後子ども教室推進事業保護者説明会	和瀨小学校	20人	②和小っ子クラブ運営会議①	和瀨コミュニティセンター	30人	③和小っ子クラブ運営会議②	和瀨コミュニティセンター	35人	④和小っ子クラブ運営会議③	和瀨コミュニティセンター	23人																	
活 動 内 容	場 所	参加ボランティア人数																																						
①石巻市放課後子ども教室推進事業保護者説明会	和瀨小学校	20人																																						
②和小っ子クラブ運営会議①	和瀨コミュニティセンター	30人																																						
③和小っ子クラブ運営会議②	和瀨コミュニティセンター	35人																																						
④和小っ子クラブ運営会議③	和瀨コミュニティセンター	23人																																						
3 放課後子ども教室の活動実績 年間34日																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>日数</th> <th>参加児童延べ人数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学習活動(宿題・自由学習・紙工作など)</td> <td>7日</td> <td>192人</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>②体験活動(漁業体験・農業体験・調理など)</td> <td>12日</td> <td>307人</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ活動(ビニールバレーボールなど)</td> <td>4日</td> <td>117人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>④その他の学習活動(読み聞かせ・紙芝居など)</td> <td>2日</td> <td>56人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>⑤遊びの活動(風揚げ・昔の遊びなど)</td> <td>6日</td> <td>166人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>⑥その他の活動(開校式、感謝の会)</td> <td>3日</td> <td>62人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>900人</td> <td>388人</td> </tr> </tbody> </table>									活 動 内 容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数	①学習活動(宿題・自由学習・紙工作など)	7日	192人	53人	②体験活動(漁業体験・農業体験・調理など)	12日	307人	183人	③スポーツ活動(ビニールバレーボールなど)	4日	117人	34人	④その他の学習活動(読み聞かせ・紙芝居など)	2日	56人	19人	⑤遊びの活動(風揚げ・昔の遊びなど)	6日	166人	65人	⑥その他の活動(開校式、感謝の会)	3日	62人	34人	計		900人	388人
活 動 内 容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数																																					
①学習活動(宿題・自由学習・紙工作など)	7日	192人	53人																																					
②体験活動(漁業体験・農業体験・調理など)	12日	307人	183人																																					
③スポーツ活動(ビニールバレーボールなど)	4日	117人	34人																																					
④その他の学習活動(読み聞かせ・紙芝居など)	2日	56人	19人																																					
⑤遊びの活動(風揚げ・昔の遊びなど)	6日	166人	65人																																					
⑥その他の活動(開校式、感謝の会)	3日	62人	34人																																					
計		900人	388人																																					
成 果 毎週木曜日の放課後、多くのボランティアに見守られながら子どもたちは安心して活動に取り組むことができた。縦割り班でグループを編成しているため、自然と上級生が下級生の子どもの面倒を見るようになり、思いやりの心が育ってきている。「和小っ子クラブ」が子どもたちとボランティア、ボランティア同士、保護者とボランティア、それぞれをつなぐ場として機能している。																																								
成果に係る評価 地域の人々の参画を得て、放課後を活用した学習活動や体験活動を充実して行うことができた。異世代交流を行うことで、縦のつながりも深めることができ、地域に根ざした活動ができてきており、地域の人々に見守られながら体験活動をやり遂げることで学習意欲が向上するとともに、思いやりの気持ちが育っている。 また、地域の人々も、子どもたちの教育に協力を惜しまず、子どもたちと共に放課後子ども教室に参画することに生きがいを見出しており、地域教育力の向上にも役立っている。 今後は、持続的な運営の仕方やボランティアの研修などによる指導力や意識の向上などを図りながら継続する必要があるとともに、ボランティアの人員確保を行っていきたい。																																								
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
		1,115,000	908,673	903,343			5,330																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																					
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()																					
	4 目	図書館費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する		()																					
実施計画掲載ページ		P 89		中 事 業	図書館活動費																							
事業コード		005-004-001-00276		事 業 名	読書環境整備事業																							
目的及び事業内容																												
<p>図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。</p>																												
取組実績																												
<p>1 新刊書や絵本を中心とした図書資料の購入・貸出 新刊書や絵本を中心に、図書館で選定した図書及び、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。</p> <p>2 レファレンス等による関連図書資料の貸出 受付カウンターでのレファレンス（調査・相談）業務に基づき、テーマに関連した図書資料を紹介するとともに、貸出を行った。</p> <p>3 子ども読書活動の一環とした事業 本館において、「あかちゃんおはなし会」、「たのしいおはなし会」を毎月2回実施、河北・桃生分館では、「おはなし会」を毎月1回開催し、好評を得ている。各事業ともボランティアとの協働により実施している。 また、発達段階に応じ、「あかちゃん」、「3・4歳児」、「読み聞かせ」等に分類した絵本を配置し、絵本の選本を容易にし、利用しやすい環境作りを行った。</p> <p>4 子育て支援事業 「石巻市子育て支援センター」をはじめとする各施設において、読み聞かせ、手遊び、わらべうた等を通じて、図書に親しみ「心豊かで健やかな成長」を願い、活動を実施した。</p> <p>5 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書室との連携強化のため、学校訪問を行い、学校図書室が抱える問題などの調査や相談を受けている。</p>																												
成果																												
<p>・平成21年度には354,232冊を数えた貸出冊数は、震災の影響により平成23年度には160,474冊まで激減したが、平成25年度293,750冊、平成26年度288,942冊、平成27年度は291,341冊と回復しつつある。</p> <p>・図書の購入については、新刊、話題の図書及び絵本を中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けで対応した。</p> <p>・東日本大震災に関する郷土資料を積極的に収集し、市民へ提供するとともに、後世へ「知の遺産」として保存すべく整備を行った。</p> <p>・館内でのレファレンスサービス提供により、市民の利便性向上を行った。</p> <p>・移動図書館車で52か所の仮設住宅団地等を2週間に一度巡回し、図書館サービスを実施し、被災者の利便性向上を図った。</p>																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>5,996冊</td> <td>5,930冊</td> <td>5,957冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数 (うち移動図書館車)</td> <td>293,750冊 (17,917冊)</td> <td>288,942冊 (19,311冊)</td> <td>291,341冊 (15,430冊)</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>8,020件</td> <td>9,810件</td> <td>10,442件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,380件</td> <td>1,252件</td> <td>1,049件</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H25	H26	H27	図書購入冊数	5,996冊	5,930冊	5,957冊	貸出冊数 (うち移動図書館車)	293,750冊 (17,917冊)	288,942冊 (19,311冊)	291,341冊 (15,430冊)	リクエスト処理件数	8,020件	9,810件	10,442件	調査相談サービス	1,380件	1,252件	1,049件
主な指標項目	H25	H26	H27																									
図書購入冊数	5,996冊	5,930冊	5,957冊																									
貸出冊数 (うち移動図書館車)	293,750冊 (17,917冊)	288,942冊 (19,311冊)	291,341冊 (15,430冊)																									
リクエスト処理件数	8,020件	9,810件	10,442件																									
調査相談サービス	1,380件	1,252件	1,049件																									
成果に係る評価																												
<p>・平成27年度の貸出冊数については、前年度を若干上回る結果になった。</p> <p>・各種事業をとおして、読書習慣の重要性を周知することができた。</p> <p>・平成28年度から学校司書の配置が一部で始まるため、学校図書室との連携を強化していく必要がある。</p> <p>・移動図書館サービスについては、仮設住宅団地からの退去者が増え、利用件数が減少してきているため巡回団地の見直しの必要性が生じている。又、今後は仮設住宅団地の集約状況を注視しながら事業をすすめていきたい。</p>																												
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	10,002,060		10,002,060				8,000,000	2,002,060																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()	
	10 目	河北総合センター費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 88		中 事 業	河北総合センター管理費			
事業コード		005-003-001-00607		事 業 名	河北総合センター施設改修事業			
目的及び事業内容								
<p>開設以来、20年が過ぎた施設の経年劣化による設備不良箇所を、年次計画により、順次、改修を行い、利用者に安心・安全で快適な施設の提供を図る。</p>								
取組実績								
<p>平成24年度 河北総合センター音響設備更新事業 平成25年度 河北総合センター直流電源装置蓄電池交換修繕事業 平成26年度 河北総合センター施設改修事業（中央監視装置及び冷水発生機修繕）28,620千円 このほか、エレベーター修繕962千円、非常用ディーゼル発電機電池触媒栓修繕157千円、ランニングマシン修繕193千円を行った。</p> <p>平成27年度 河北総合センター施設改修事業 ・文化交流ホール照明修繕 69,120千円 ・緞帳巻上機修繕 5,184千円 ・照明制御設備修繕 7,236千円 ・文化交流ホールサスペンションライト用しず枠修繕 486千円</p>								
成果								
<p>経年劣化した装置・機器類の修繕により、文化交流ホール及び館内照明設備がリニューアルされ、利用者の利便性が図られた。</p>								
成果に係る評価								
<p>開館から20年が過ぎ、懸案であった文化交流ホールの照明設備・緞帳巻上機等が改修されたことにより、安心・安全で快適な施設の提供ができ、利用者の利便性が図られた。また、館内照明設備の修繕により、操作の簡便化・迅速化が図られ、利用者へのサービス向上の一助となった。</p>								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	90,000,000		82,026,000			77,900,000		4,126,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																					
	6 項	社会教育費		第 節			()																					
	10 目	河北総合センター費		()			()																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	河北総合センター管理費																								
事業コード			事 業 名	河北総合センター管理運営事業																								
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と福祉の増進に資する。																										
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋含む）</td> <td>33,312人</td> <td>23,149人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>29,082人</td> <td>39,207人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,430人</td> <td>4,171人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>8,770人</td> <td>8,985人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>40,143人</td> <td>53,140人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>115,737人</td> <td>128,652人</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	H26	H27	ホール（楽屋含む）	33,312人	23,149人	アリーナ	29,082人	39,207人	トレーニング室	4,430人	4,171人	柔剣道場	8,770人	8,985人	会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	計	115,737人	128,652人	2 指定管理者による管理運営				
区 分	H26	H27																										
ホール（楽屋含む）	33,312人	23,149人																										
アリーナ	29,082人	39,207人																										
トレーニング室	4,430人	4,171人																										
柔剣道場	8,770人	8,985人																										
会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人																										
計	115,737人	128,652人																										
		①指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 ②指定管理料 94,582,000円（平成27年度） ③指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで																										
成 果		平成26年度より指定管理による運営がなされており、指定管理者独自の改革により、休日の利用時間延長、申請手続き等の負担軽減、ホームページ等の整理による情報内容の充実等により、利用者の利便性が図られている。 平成27年度は、ホール照明設備等の修繕により約2ヶ月半閉鎖し利用人数の減が見られたが、全体としては前年比12,915人増となっており、順調な伸びを見せている。																										
成果に係る評価		ホールは2カ月半の休館により、対前年度比約1万人減であるが、アリーナは約1万人増、会議室等でも約1万3千人増であり、順調な運営がなされていると判断できる。																										
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	94,700,000	94,582,000				94,582,000																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																					
	6 項	社会教育費		第 節			()																					
	11 目	遊楽館費		()			()																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	遊楽館管理費																								
事業コード			事 業 名	遊楽館管理運営事業																								
目的及び事業内容		市民の交流及び文化・体育の振興と健康増進を図り、もって公共の福祉の向上に資する。																										
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋・リハーサル室含む）</td> <td>27,626人</td> <td>30,328人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>24,710人</td> <td>28,410人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,591人</td> <td>5,849人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>26,120人</td> <td>24,322人</td> </tr> <tr> <td>その他（調理室・多目的室・視聴覚室等）</td> <td>7,441人</td> <td>9,374人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>91,488人</td> <td>98,283人</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	H26	H27	ホール（楽屋・リハーサル室含む）	27,626人	30,328人	アリーナ	24,710人	28,410人	トレーニング室	5,591人	5,849人	会議室・和室	26,120人	24,322人	その他（調理室・多目的室・視聴覚室等）	7,441人	9,374人	計	91,488人	98,283人	・遊楽館 ・河南室内プール 利用者数：30,358人 会員数：5,015人				
区 分	H26	H27																										
ホール（楽屋・リハーサル室含む）	27,626人	30,328人																										
アリーナ	24,710人	28,410人																										
トレーニング室	5,591人	5,849人																										
会議室・和室	26,120人	24,322人																										
その他（調理室・多目的室・視聴覚室等）	7,441人	9,374人																										
計	91,488人	98,283人																										
		2 指定管理者による管理運営																										
		・遊楽館 ①指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 ②指定管理料 103,229,000円（平成27年度） ③指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで ・河南室内プール ①指定管理者 石巻市体育協会・ミズノグループ ②指定管理料 16,374,000円（平成27年度） ③指定期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで																										
成 果		平成26年度より指定管理による運営がなされており、休日の利用時間延長、申請手続きの負担軽減等により、利用者の利便性が図られている。 室内プールについても、平成24年度から新しい指定管理者により運営され、スクール事業の実施など自主事業にも力を入れ、利用者の健康増進が図られ、利用も徐々に増えてきている。																										
成果に係る評価		年間利用者数は、対前年度比で、遊楽館6,795人増、プール2,182人増となっており、順調な運営がなされていると判断できる。																										
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	120,175,000	119,603,000				119,603,000																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()															
	6 項	社会教育費		第 節			()															
	11 目	遊楽館費		()			()															
実施計画掲載ページ			中 事 業	かなんパークゴルフ場運営費																		
事業コード			事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業																		
目的及び事業内容		市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供し体力向上や健康増進を図る。																				
取組実績		<p>1 指定管理者 有限会社ふれあいパーク</p> <p>2 指定管理料 11,895,000円(平成27年度)</p> <p>3 指定期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>4 実施事業</p> <p>(1) 初心者への指導、講習会(随時)</p> <p>(2) 各種大会の開催</p> <p>(3) 快適なゴルフ場を目指すための施設整備(芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理)</p> <p>5 年間利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>46,543人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>30,843人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>41,583人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>32,526人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44,227人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49,967人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用人数	H22	46,543人	H23	30,843人	H24	41,583人	H25	32,526人	H26	44,227人	H27	49,967人
年度	利用人数																					
H22	46,543人																					
H23	30,843人																					
H24	41,583人																					
H25	32,526人																					
H26	44,227人																					
H27	49,967人																					
成 果		平成27年度の利用者数は、天候にも恵まれ前年比5,740人増の49,967人となった。これは、平成17年度開場以来の最高値であり、順調な伸びを示しており、パークゴルフ事業の目的であるスポーツの楽しさとふれあいの場を提供することができた。																				
成果に係る評価		駐車場の増設、指定管理者の努力等により利用者への利便性が図られたことが、過去最高の利用者数につながっているといえる。パークゴルフに親しむ方々に、より多く来場していただける機会を提供できた。																				
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	11,910,000	11,905,000				11,905,000																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																						
	6 項	社会教育費		第 節			(1)	未来の人を育てる																						
	13 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																						
実施計画掲載ページ		P192	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																										
事業コード		004-101-004-00514	事 業 名	文化芸術事業																										
目的及び事業内容		市民の心の豊かさの復興が真の復興となるという考えから、市民への芸術鑑賞機会の提供など、被災者を対象とした事業及び一般市民を対象とし、復興支援コンサート、市外への移動鑑賞ツアー、学校等へのアウトリーチ事業を実施する。																												
取組実績		<p>文化芸術事業に関するノウハウを有する、石巻市芸術文化振興財団に事業を委託し実施した。</p> <p>1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業</p> <p>(1) 仮設住宅集会所及び小ホールを利用した事業 4件 4回 446名参加</p> <p>2 被災者を対象とした文化芸術参加型事業</p> <p>(1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業 9件 26回 761名参加</p> <p>3 被災児童生徒を対象とした文化芸術事業</p> <p>(1) 被災した小中学校及び幼稚園等を対象とした事業(アウトリーチ) 6件 10回 1,077名参加</p> <p>4 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業</p> <p>(1) 市内の体育施設等を利用した大型事業 4件 4回 5,199名参加</p> <p>(2) 市内の小ホール等を利用した事業 7件 7回 3,088名参加</p> <p>(3) 市外への移動鑑賞ツアー 3件 3回 119名参加</p> <p>(4) 小中高等学校等でのアウトリーチ事業 6件 14回 1,247名参加</p> <p style="text-align: right;">合計 39件 68回 11,937名参加</p>																												
成 果		<p>市民の「心の豊かさの復興」のため、文化芸術に接する機会を提供することができた。</p> <p>事業の実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>50回</td> <td>67回</td> <td>134.0%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>50回</td> <td>59回</td> <td>118.0%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>50回</td> <td>50回</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50回</td> <td>68回</td> <td>136.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	実績等	H24	50回	67回	134.0%	H25	50回	59回	118.0%	H26	50回	50回	100.0%	H27	50回	68回	136.0%
区分	成果指標		達成率																											
	目標値	実績等																												
H24	50回	67回	134.0%																											
H25	50回	59回	118.0%																											
H26	50回	50回	100.0%																											
H27	50回	68回	136.0%																											
成果に係る評価		<p>芸術文化活動の拠点であった市民会館・文化センターが被災し代替施設がない中で、相手方へ出向くアウトリーチ事業をはじめ、様々な場面で芸術鑑賞の機会を提供したことで、達成率は136%であり、事業の目的は達成できた。「心の豊かさの復興」はまだまだ途上であり、今後も芸術鑑賞機会の提供のために当該事業を継続する必要がある。</p> <p>なお、震災から5年が経ち、今後、本事業の比重は少しずつホール・アリーナ等での文化芸術事業にシフトすると思われる。</p>																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	14,040,000	14,040,000				14,040,000																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																															
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																															
	13 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																															
実施計画掲載ページ	P192		中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																																		
事業コード	004-101-004-00515	事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業〔復興基金〕																																																			
目的及び事業内容	芸術文化の推進には、市民団体である文化協会と行政が協働して推進することが重要であり、その活動を通じて地域の芸術文化の発展を助長するとともに、地域文化の振興と向上に寄与する。文化協会は今後とも本市の芸術文化の推進に欠かせない民間団体である。																																																					
取 組 実 績	1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流 (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。																																																					
	2 石巻市文化協会の概要 (平成27年4月1日現在)																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>約180団体</td> <td>約5,800人</td> </tr> </tbody> </table>							名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人																																							
名称	設立年月日	加盟団体数	会員数																																																			
石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人																																																			
3 主要事業(地区別)																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>関西音楽人のちから「集」公演</td><td>平成27年5月17日</td></tr> <tr><td>「仙石線開通を歓喜の音楽で」公演</td><td>平成27年6月21日</td></tr> <tr><td>第19回みやぎ県民文化祭(於大崎市)</td><td>平成27年10月17日～18日</td></tr> <tr><td>第8回石巻市合同文化祭(担当:河北)</td><td>平成27年10月31日～11月3日</td></tr> <tr><td>第36回宮城県運営研修会(主管:気仙沼本吉)</td><td>平成27年12月3日～4日</td></tr> <tr><td>石巻市東日本大震災5周年追悼式典</td><td>平成28年3月11日</td></tr> <tr><td>第21回石巻芸術文化祭(展示 石巻)</td><td>平成27年10月10日～12日</td></tr> <tr><td>第21回石巻芸術文化祭(舞台公演 石巻)</td><td>平成27年10月11日</td></tr> <tr><td>かほく寄席(河北)</td><td>平成27年7月4日</td></tr> <tr><td>かほく文化祭(河北)</td><td>平成27年10月31日～11月3日</td></tr> <tr><td>おがつの芸祭鼓舞(雄勝)</td><td>平成27年5月24日</td></tr> <tr><td>雄勝町微備船資料展(雄勝)</td><td>平成27年8月10日～31日</td></tr> <tr><td>雄勝町微備船資料展文化講演会(雄勝)</td><td>平成27年8月23日</td></tr> <tr><td>杉原千畝パネル展(雄勝)</td><td>平成27年12月17日～平成28年1月31日</td></tr> <tr><td>サンファン号の文化講演会(雄勝)</td><td>平成28年2月21日</td></tr> <tr><td>かなん文化まつり(河南)</td><td>平成27年6月28日</td></tr> <tr><td>かなんまつり(河南)</td><td>平成27年10月31日</td></tr> <tr><td>さつき盆栽展示会(桃生)</td><td>平成27年6月13日～14日</td></tr> <tr><td>桃生地区芸能祭(桃生)</td><td>平成27年6月14日</td></tr> <tr><td>桃生地区文化祭・菊花展(桃生)</td><td>平成27年10月31日～11月1日</td></tr> <tr><td>春の山野草展(北上)</td><td>平成27年5月9日～10日</td></tr> <tr><td>ふるさと復興支援演奏会(北上)</td><td>平成27年6月15日</td></tr> <tr><td>秋の山野草展(北上)</td><td>平成27年10月11日～12日</td></tr> </tbody> </table>							事業名	開催期間	関西音楽人のちから「集」公演	平成27年5月17日	「仙石線開通を歓喜の音楽で」公演	平成27年6月21日	第19回みやぎ県民文化祭(於大崎市)	平成27年10月17日～18日	第8回石巻市合同文化祭(担当:河北)	平成27年10月31日～11月3日	第36回宮城県運営研修会(主管:気仙沼本吉)	平成27年12月3日～4日	石巻市東日本大震災5周年追悼式典	平成28年3月11日	第21回石巻芸術文化祭(展示 石巻)	平成27年10月10日～12日	第21回石巻芸術文化祭(舞台公演 石巻)	平成27年10月11日	かほく寄席(河北)	平成27年7月4日	かほく文化祭(河北)	平成27年10月31日～11月3日	おがつの芸祭鼓舞(雄勝)	平成27年5月24日	雄勝町微備船資料展(雄勝)	平成27年8月10日～31日	雄勝町微備船資料展文化講演会(雄勝)	平成27年8月23日	杉原千畝パネル展(雄勝)	平成27年12月17日～平成28年1月31日	サンファン号の文化講演会(雄勝)	平成28年2月21日	かなん文化まつり(河南)	平成27年6月28日	かなんまつり(河南)	平成27年10月31日	さつき盆栽展示会(桃生)	平成27年6月13日～14日	桃生地区芸能祭(桃生)	平成27年6月14日	桃生地区文化祭・菊花展(桃生)	平成27年10月31日～11月1日	春の山野草展(北上)	平成27年5月9日～10日	ふるさと復興支援演奏会(北上)	平成27年6月15日	秋の山野草展(北上)	平成27年10月11日～12日
事業名	開催期間																																																					
関西音楽人のちから「集」公演	平成27年5月17日																																																					
「仙石線開通を歓喜の音楽で」公演	平成27年6月21日																																																					
第19回みやぎ県民文化祭(於大崎市)	平成27年10月17日～18日																																																					
第8回石巻市合同文化祭(担当:河北)	平成27年10月31日～11月3日																																																					
第36回宮城県運営研修会(主管:気仙沼本吉)	平成27年12月3日～4日																																																					
石巻市東日本大震災5周年追悼式典	平成28年3月11日																																																					
第21回石巻芸術文化祭(展示 石巻)	平成27年10月10日～12日																																																					
第21回石巻芸術文化祭(舞台公演 石巻)	平成27年10月11日																																																					
かほく寄席(河北)	平成27年7月4日																																																					
かほく文化祭(河北)	平成27年10月31日～11月3日																																																					
おがつの芸祭鼓舞(雄勝)	平成27年5月24日																																																					
雄勝町微備船資料展(雄勝)	平成27年8月10日～31日																																																					
雄勝町微備船資料展文化講演会(雄勝)	平成27年8月23日																																																					
杉原千畝パネル展(雄勝)	平成27年12月17日～平成28年1月31日																																																					
サンファン号の文化講演会(雄勝)	平成28年2月21日																																																					
かなん文化まつり(河南)	平成27年6月28日																																																					
かなんまつり(河南)	平成27年10月31日																																																					
さつき盆栽展示会(桃生)	平成27年6月13日～14日																																																					
桃生地区芸能祭(桃生)	平成27年6月14日																																																					
桃生地区文化祭・菊花展(桃生)	平成27年10月31日～11月1日																																																					
春の山野草展(北上)	平成27年5月9日～10日																																																					
ふるさと復興支援演奏会(北上)	平成27年6月15日																																																					
秋の山野草展(北上)	平成27年10月11日～12日																																																					
成 果	文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、地域文化の振興と向上に寄与することができた。また、芸術文化団体相互の交流が図られた。																																																					
成果に係る評価	震災以降少しずつ回復傾向にあるが、依然として打撃から立ち直れないでいる団体もある。伝統文化の保存継承の面からも、継続して支援していく必要がある。																																																					
(単位:円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	1,645,000	1,645,000			1,645,000																																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P191		中 事 業	齋藤氏庭園修復整備事業費			
事業コード	004-101-003-00510	事 業 名	国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業				
目的及び事業内容	宮城県北部連続地震及び東日本大震災により、損傷した庭園及び建物を修復し、国指定名勝として永く保存活用する。						
取 組 実 績	齋藤氏庭園保存修理工事の実施。 前土蔵・後土蔵の半解体工事及び住宅の耐震診断に必要な建物構造調査・現況構造図作成のための調査を実施。						
	成 果						
成 果	庭園内の建造物について、調査・保存修復工事を行った。平成26年度から前土蔵及び後土蔵の半解体工事で、屋根瓦の調査・取り外し、瓦の製作、左官工事として壁の解体、柱の根継等補修木工事、養生等を行っているが、平成27年度も引き続き前土蔵及び後土蔵の修復工事を行った。屋根瓦の葺替が終了し、前土蔵は、壁材の修復(土塗り前の状態)、入り口庇の修復等が終了している。後土蔵は、壁の土塗りを行っているが、天候等により最終の塗りまでは至っていない。						
成果に係る評価	平成23年度から平成25年度までの緊急補修工事では、茅葺屋根の葺き替えや傾いていた切っ取り塀を修復し、建物等の劣化を防いだ。平成26年度からの保存修理については、文化財としての価値を十分に考慮し、解体と同時に建物調査を行い、市民や観光客にも親しんでもらえるような形で、文化庁や県の指導を受けながら計画的に実施していく必要がある。						
(単位:円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	214,003,000	152,317,540	135,555,000			16,762,540	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	6 項	社会教育費		第 節			()	
	13 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	複合文化施設整備事業費				
事業コード			事 業 名	複合文化施設整備事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建に当たり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。						
取 組 実 績		石巻市複合文化施設整備基本計画を策定した。						
成 果		平成26年6月に基本構想を策定し、基本計画策定のため文化芸術団体の代表者等による市民懇談会及び庁内各関係課長等による調整会議を立上げ、基本計画（案）策定のため、検討を行ってきた。平成26年度中の策定を目指してきたが、震災による建設費の高騰、建設場所、財源、施設規模等について更なる検討が必要となり、事業を平成27年度に繰越し、引き続き市民懇談会及び調整会議で検討し平成28年3月に石巻市複合文化施設整備基本計画を策定した。						
成果に係る評価		建設スケジュールに合わせ、平成32年度中にオープンできるよう事業を進めていく必要がある。平成28年度はプロポーザルによる基本設計者の選定及び基本設計の実施を予定している。また併せて展示基本計画及び基本設計も実施する予定としている。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	8,881,550	7,603,648			6,017,000	1,586,648		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																															
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()																															
	1 4 目	保健体育総務費 体育館費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		()																															
実施計画掲載ページ		P 89	中 事 業	体育奨励費・体育館管理費																																		
事業コード		005-004-002-00268	事 業 名	スポーツ振興事業																																		
目的及び事業内容		市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、いしのまき復興マラソン、市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会、いしのまきキッズ交流大会、キッズバラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室の計6事業をスポーツ振興事業として実施している。																																				
取 組 実 績		<ol style="list-style-type: none"> いしのまき復興マラソン（旧石巻ふれあいマラソン大会） 平成25、26年度開催できなかったが、平成27年度は、全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために第1回いしのまき復興マラソンとして開催した。ウォーキング・2km・3km・5km・10km・ハーフの6部門を3日間に渡って実施した。 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施した。 石巻市小学生リレーマラソン大会及びいしのまきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図るため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で石巻市小学生リレーマラソン大会といしのまきキッズ交流大会を合同開催し、市民のスポーツ参加の一翼を担った。 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いのかわからないという子供たちに対して、多数のスポーツ種目への体験の場を提供するため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施しており、自分に合った種目を見つけ出し、スポーツ活動に取り組む機会を創出させ、子供たちの体力の向上に努めた。 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として平成25年度より「協働」で実施。楽しみながら基本的な技術を習得し、運動する喜びを感じて心身ともに健康な体づくりを目指し、受講生相互のコミュニティが形成される。 																																				
成 果		<ul style="list-style-type: none"> ・一大イベントであるマラソン大会が再開できた。 ・小学生リレーマラソン大会といしのまきキッズ交流大会を合同開催として実施した。 ・キッズバラエティスポーツ教室は昨年度より増となる12種類のスポーツを2回ずつ行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標項目</th> <th>年度</th> <th>復興マラソン</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>H25</td> <td>-</td> <td>153人</td> <td>245人</td> <td>1,088人</td> <td>841人</td> <td>2,327人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>-</td> <td>85人</td> <td>340人</td> <td>1,078人</td> <td>1,109人</td> <td>2,612人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3,631人</td> <td>112人</td> <td>263人</td> <td>1,173人</td> <td>1,136人</td> <td>6,315人</td> </tr> </tbody> </table>							指標項目	年度	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計	参加者数	H25	-	153人	245人	1,088人	841人	2,327人	H26	-	85人	340人	1,078人	1,109人	2,612人	H27	3,631人	112人	263人	1,173人	1,136人	6,315人
指標項目	年度	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計																															
参加者数	H25	-	153人	245人	1,088人	841人	2,327人																															
	H26	-	85人	340人	1,078人	1,109人	2,612人																															
	H27	3,631人	112人	263人	1,173人	1,136人	6,315人																															
成果に係る評価		いしのまき復興マラソンは、スポーツ振興事業の目玉と位置付け、参加者は、総合運動公園に設置してある国立競技場聖火台に集い、復興への思いをひとつにして絆を深めた。スポーツが復興の力になることを実感した。また、体育施設の復旧状況に合わせ、工夫を凝らした形での5事業を実施することができ、参加総人数も増加している状況である。 なお、企画・運営については、特定非営利活動法人石巻市体育協会と「協働」の体制を変えず、行政主導から民間主導へと移行して実施しており、「成人のスポーツ実施率の向上」、「子どもたちの体力と運動能力の向上」を達成するために必要な要素が含まれていることから、被災地(被災者)の復興状況と照らし合わせながら、多くの市民が参加しやすい環境整備及び参加意識の向上に努めた。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	3,673,000	3,673,000					3,673,000																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																															
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																															
	3 目	学校給食費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																																																																															
実施計画掲載ページ		P 20	中 事 業		学校給食センター運営費、賄材料費																																																																																	
事業コード		002-001-002-00243	事 業 名		学校給食センター運営事業																																																																																	
目的及び事業内容		<p>児童・生徒に豊かで栄養のバランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活習慣の基盤形成を促すとともに、会食をとおして豊かな人間関係を育成する。</p> <p>地場産物を使い、地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産物や食文化を理解し、尊重する心を育てる。</p>																																																																																				
取 組 実 績		実施状況（平成28年1月1日現在）																																																																																				
		区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率																																																																															
		小学校	35校	7,019人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																															
中学校	20校	4,029人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																	
幼稚園	2園	152人	完全給食	共同調理場方式	100%																																																																																	
取 組 実 績		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>対象校数</th> <th>児童数</th> <th>対象校数</th> <th>生徒数</th> <th>対象園数</th> <th>園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊学校給食センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>渡波学校給食センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石巻西学校給食センター</td> <td>6校</td> <td>2,538人</td> <td>3校</td> <td>1,042人</td> <td></td> <td></td> <td>9校 3,580人</td> </tr> <tr> <td>住吉学校給食センター</td> <td>7校</td> <td>1,871人</td> <td>4校</td> <td>1,138人</td> <td></td> <td></td> <td>11校 3,009人</td> </tr> <tr> <td>河北学校給食センター</td> <td>9校</td> <td>1,179人</td> <td>7校</td> <td>882人</td> <td>1園</td> <td>90人</td> <td>17校 2,151人</td> </tr> <tr> <td>河南学校給食センター</td> <td>9校</td> <td>1,358人</td> <td>3校</td> <td>692人</td> <td>1園</td> <td>62人</td> <td>13校 2,112人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿学校給食センター</td> <td>4校</td> <td>73人</td> <td>3校</td> <td>275人</td> <td></td> <td></td> <td>7校 348人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35校</td> <td>7,019人</td> <td>20校</td> <td>4,029人</td> <td>2園</td> <td>152人</td> <td>57校(園) 11,200人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	小学校		中学校		幼稚園		計	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	湊学校給食センター								渡波学校給食センター								石巻西学校給食センター	6校	2,538人	3校	1,042人			9校 3,580人	住吉学校給食センター	7校	1,871人	4校	1,138人			11校 3,009人	河北学校給食センター	9校	1,179人	7校	882人	1園	90人	17校 2,151人	河南学校給食センター	9校	1,358人	3校	692人	1園	62人	13校 2,112人	牡鹿学校給食センター	4校	73人	3校	275人			7校 348人	計	35校	7,019人	20校	4,029人	2園	152人	57校(園) 11,200人
		区分	小学校		中学校		幼稚園			計																																																																												
			対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数																																																																														
湊学校給食センター																																																																																						
渡波学校給食センター																																																																																						
石巻西学校給食センター	6校	2,538人	3校	1,042人			9校 3,580人																																																																															
住吉学校給食センター	7校	1,871人	4校	1,138人			11校 3,009人																																																																															
河北学校給食センター	9校	1,179人	7校	882人	1園	90人	17校 2,151人																																																																															
河南学校給食センター	9校	1,358人	3校	692人	1園	62人	13校 2,112人																																																																															
牡鹿学校給食センター	4校	73人	3校	275人			7校 348人																																																																															
計	35校	7,019人	20校	4,029人	2園	152人	57校(園) 11,200人																																																																															
成 果		<p>1 栄養の改善及び増進が図られた。</p> <p>2 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができた。</p> <p>3 食育における食文化の継承として、学校給食において次の地場産物利用を図り、食事の提供のみならず、「生きた教材」として地域の産物や食文化を理解し、尊重する心を育成した。</p> <p>4 明治時代から続く近代捕鯨という伝統的地域特性を生かし、災害時でも日本鯨類研究所の協力を得て、全学校に対し鯨肉を使用した給食を提供できた。</p> <p>5 給食費の未納対策に関して、教育委員会と学校が一体となり収納対策に努め、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。</p>																																																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>滞納学校数</th> <th>滞納者数</th> <th>滞納繰越額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>15校</td> <td>61人</td> <td>1,745,147円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>19校</td> <td>68人</td> <td>2,242,434円</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>4校</td> <td>7人</td> <td>497,287円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	H26	15校	61人	1,745,147円	H27	19校	68人	2,242,434円	比較増減	4校	7人	497,287円																																																														
		年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額																																																																																	
H26	15校	61人	1,745,147円																																																																																			
H27	19校	68人	2,242,434円																																																																																			
比較増減	4校	7人	497,287円																																																																																			
<p>学校給食については、児童・生徒の心身の健全な発育、正しい食習慣の形成、健康管理のための食生活改善等の目的があり、生きた教材として地場産物を使った献立等を提供し、食育に資することも求められている。平成27年度においても、前年度使用実績のある地元産の「豆腐」を使用した「豆腐ハンバーグ」や北上のわかめを使った「わかめぎょうざ」などを献立に取り入れ、前年度の地場産物使用割合を上回る結果となった。</p> <p>給食費の未納対策については、滞納者に対してその都度督促を行い対応経過を記録している。また、平成27年度より保護課との連携で教育扶助の代理納付制度を開始し、納付への成果に繋がっている。今後も学校と連携を密にしなが、新たな滞納者を発生させないよう、保護者に理解と協力を求める。</p> <p>震災により、湊と渡波学校給食センターが被災し使用不能となったことから、東松島市から施設の無償譲渡を受け、石巻西学校給食センターとして使用しているが、新センター開設（平成28年8月予定）後に解体し、土地を返還することになっている。なお、新センターの開設に伴い、石巻西と牡鹿学校給食センターは廃止し、新センターと統合することで、維持管理経費の削減を図ることができる。</p>																																																																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
		882,990,000	841,026,025			561,082,356	279,943,669																																																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()	
	5 目	総合運動公園費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		()	
実施計画掲載ページ		P 89	中 事 業		総合運動公園管理費			
事業コード		005-004-002-01008	事 業 名		石巻フットボール場改修事業			
目的及び事業内容		<p>石巻フットボール場ではサッカー、ラグビーの各種大会が毎週行われ数多くの選手・観客が訪れているが、現状のスコアボードは設置から14年が経過しており、故障時の修理部品調達が困難であり、表示部分も不鮮明で太陽光で見えない旨の苦情が多数寄せられ大会運営に支障を期していることから、全面改修（カラーパネルLED化等）して良好な施設整備を図る。</p>						
取 組 実 績		<p>石巻フットボール場スコアボード改修工事の実施 スコアボードのカラーパネルLED化を実施。</p>						
		<p>改修することで良好な施設運営が図られ、各種大会が開催されることで掲示板による様々な演出が可能となる。</p>						
		<p>全国レベルの大会誘致が期待でき、サッカー、ラグビーのトップ選手による試合並びに試合開始前後における青少年を対象とした教室や交流会に活用し、青少年の健全育成及び本市のスポーツ振興に大きく寄与するものと思われる。</p> <p>また、全国レベルの大会開催により、各地から大勢の選手やサポーターの来石が期待でき、同時に経済効果も見込める。</p>						
成 果		<p>改修することで良好な施設運営が図られ、各種大会が開催されることで掲示板による様々な演出が可能となる。</p>						
成果に係る評価		<p>全国レベルの大会誘致が期待でき、サッカー、ラグビーのトップ選手による試合並びに試合開始前後における青少年を対象とした教室や交流会に活用し、青少年の健全育成及び本市のスポーツ振興に大きく寄与するものと思われる。</p> <p>また、全国レベルの大会開催により、各地から大勢の選手やサポーターの来石が期待でき、同時に経済効果も見込める。</p>						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
		138,700,000	130,320,360		123,700,000		6,620,360	

予 算 科 目	10 11 款	教育費 災害復旧費	総 合 計 画	第 章	復 興 計 画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	7 5 項	保健体育費 その他公共施設・公用施設災害復旧費		第 節		(1)	未来の人を育てる	
	8 1 目	東日本大震災関係費 その他公用施設災害復旧費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
実施計画 掲載ページ		P187	中 事 業		学校給食センター建設事業費 学校給食センター災害復旧費			
事業コード		004-101-001-00486	事 業 名		(仮称)石巻東学校給食センター建設事業〔復興交付金・復興基金〕			
目的及び事業内容		被災した湊給食センター及び渡波給食センターを統合した上で再建し、児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供し、心身の健全な発育に資する。 また、湊地区の住民及び事業所の就業者への災害時の炊き出し拠点施設と位置付け、災害時に食料支援を行うことで、地域住民に安全で安心して生活できる住環境を提供する。						
取 組 実 績		平成25年度 用地購入、地質調査業務、用地造成設計業務 ・用地取得内容 大門町四丁目 A=1,025.67㎡ 明神町一丁目 A= 824.77㎡ 明神町二丁目 A=1,365.39㎡ 明神町三丁目 A= 251.70㎡ 計 A=3,467.53㎡ 平成26年度 用地購入、基本・実施設計、用地造成工事、新築工事 ・用地取得内容 湊町一丁目 A=469.50㎡ 明神町一丁目 A=121.77㎡ 計 A=591.27㎡ 平成27年度 新築工事 平成28年度 新築工事完了						
成 果		竣工は平成28年5月となり、2学期からの給食提供が可能となった。						
成果に係る評価		平成28年度の開所を目指し、諸準備を進める。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,885,970,000		1,172,235,200			369,000,000	347,903,431	455,331,769